



B+COM **7X**

ユーザーズマニュアル 26.06.00

1.目次

ご使用前に

1.目次		G-1
2.操作早見表		G-3
3.安全に正しくお使いいただくために		G-5
4.はじめに		
	セット内容	G-6
	各部の名称	G-7
	充電方法	G-7
	電源のオン/オフ	G-8
	バッテリー残量の確認	G-8
	リセット機能	G-9
	取付方法	G-10～G-14

デバイス接続

5.スマートフォン(ナビ、レーダー等)との接続		
	接続方法	S-2～S4
	操作方法	S-5～S-10

インカム接続

6.インカムとの接続<B+FLEX>		
	B+FLEXについて	F2
	オープンチャンネル(モード)通話する	F3～F-5
	プライベートチャンネル(モード)通話する	F6～F9
	プライベートチャンネル(モード)のONLINE通話	F-10
	B+COM本体での共通操作	F-11
7.インカムとの接続<ユニバーサル>		
	B+LINKシリーズをお使いのお客さまへ	U-2
	B+LINK搭載モデルとの通話方法	U-3
	その他モデルと通話する	U-4～U-5
	ユニバーサル通話の再接続	U-6

便利な機能

8.便利な機能		
	音楽やナビ音声を聴きながら話す「聴きトーク」	K-2～K-3
	インカム通話中のマイクオフ機能	K-4

製品・保証

9.本体仕様		E-2
10.SYGN HOUSE .MEMBERSのご案内		E-3
11.保証規約		E-4
12.カスタマーサポート		
	サポート／製品送付先	E-5

B+FLEX APP

B+FLEX APP	ダウンロード・インストール	A-2
	各画面の説明	A-3～A-15
	アップデート方法	A-16

B+COM 7X製品情報

製品のラインナップ、価格および仕様は、予告なく変更または、生産終了する場合があります。予めご了承ください。

<https://sygnhouse.jp/products/bcom/bcom-7x/>



B+COM 7X クイックマニュアル

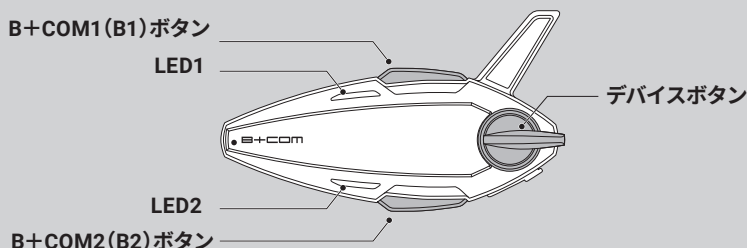
https://sygnhouse.jp/pdf/7x_quick_manual.pdf



1.目次	G-1
2.B+COM本体操作早見表	G-3
3.安全に正しくお使いいただくために	G-5
4.はじめに	
セット内容	G-6
各部の名称	G-7
充電方法	
電源のオン / オフ	G-8
バッテリー残量の確認	
リセット機能	G-9
取付方法	
取付手順	G-10
本体とマグネットクレードルの取付/取外方法	
スピーカーの取付け	G-11
ヘルメットタイプと取付手順の確認	G-12
マイクの取付け	
マグネットクレードルの取付け	G-13
本体の取付け	

2.B+COM本体操作早見表

本体ユニット



電源

電源オン	デバイスボタンの中心を押したまま1秒間上げる	LED 青 流れる点滅
電源オフ	デバイスボタンの中心を押したまま1秒間下げる	LED 赤 流れる点滅
電池残量の確認	「電源をオンにする／電源をオフにする」またはB2を3回連続で押す	LED 青 全点灯 →80% 橙 1/2点灯 →50% 赤 1/3点灯 →30% 赤 点滅 →要充電 赤 点灯 →要充電 (自動で電源オフになります)
ペアリングオールリセット	電源オフの状態でのB1、B2ボタン、デバイスボタンの中心を同時に3秒間長押し	LED 紫 3回点滅
ファクトリーリセット	電源オンの状態でB2ボタン、デバイスボタンの中心を同時に10秒間長押し	LED 白 3回点滅
ハードウェアリセット	B1、デバイスボタンの中心を同時に10秒間長押しした後、指を離す。	※本操作後に本体が自動的に再起動します。

デバイスとのペアリング

※ペアリング時は他Bluetoothデバイスはオフにする

開梱時や、オールリセットを行った後の本体にペアリング情報がない場合、電源オンで自動でデバイス1のペアリングモードになります。

デバイス1ペアリング	電源オフの状態でのデバイスボタンの中心を押したまま上へ4秒間回す	LED LED:1 青 流れる点滅 →LED:1,2 青点滅
デバイス2ペアリング	デバイス1ペアリング操作を行う デバイスボタンの中心をすばやく2回押す	LED LED:2 青 流れる点滅 →LED:1,2 青点滅
デバイスの再接続	B+COM電源オフ(オートコネクト): デバイス側のBluetoothをオン→B+COMの電源をオン B+COM電源オン(マニュアルコネクト): デバイスボタンの中心を押したまま上へ1秒間	デバイス側での接続を行う場合は、登録機器リストから「7X_v1.00_xxxx」を選択(B+COMの電源オン状態で行う)
デバイスペアリングキャンセル	デバイス1ペアリング操作→デバイス2ペアリング操作→デバイスボタンの中心を2回押す	

デバイス接続時の操作

B+FLEX APPでは視覚的に音量調整可能(A-12ページを参照)

音量調整(15段階)	音量アップ: デバイスボタンのつまみを1回上げる 音量ダウン: デバイスボタンのつまみを1回下げる	デバイス1およびデバイス2それぞれ個別に音量調整可能 ※音が出力されている状態で操作。 聴きトーク中は全体の音量調整が可能
聴きトーク中の音楽音量調整	一度B+FLEXを終了する(K-3ページを参照)→音量調整操作→B+FLEXを再開する	
音楽 再生 / 一時停止	デバイスボタンの中心を1回押す	
曲の頭出し / スキップ	スキップ: デバイスボタンのつまみを1秒間上げる 頭出し: デバイスボタンのつまみを1秒間下げる	
音量調整	音量アップ: デバイスボタンのつまみを1回上げる 音量ダウン: デバイスボタンのつまみを1回下げる	
B+COM Ride Audio	デバイスボタンの中心を1回押した後、すぐにデバイスボタンの中心をピーブ音が鳴るまで押す →上記操作をするたびに効果量: MID / HIGH / OFFの順番でループします。	

2.B+COM本体操作早見表

デバイス接続時の操作

着信応答	着信中にデバイスボタンの中心を1回押す
終話	通話中にデバイスボタンの中心を1回押す
着信拒否	着信中にデバイスボタンの中心を2回押す
スピードダイヤル機能	スピードダイヤル機能がオンの状態で、デバイスボタンの中心を3回押す →デバイスボタンのつまみを上下でダイヤル選択→デバイスボタンの中心を押して発信 ※キャンセル:デバイスボタンの中心を3回押す →詳細はS-8(デバイス接続)ページをご参照ください。
スマートフォンの音声認識機能	デバイスボタンの中心を2回押す

インカム操作

B+FLEX APPでは視覚的に音量調整可能(A-12ページを参照)

聴きトーク中の通話音量調整	音楽を一時停止する(K-3ページを参照)→音量調整操作→音楽を再生する
オープンチャンネル(モード)の通話	電源オンの状態でB1,B2ボタンを同時に押す 初回起動時はチャンネル1に設定されています。
オープンチャンネル(モード)のチャンネル切替え	オープンチャンネル中にB1,B2ボタンを同時に3秒間押す→ 【チャンネルの選択】B1、B2のどちらかを押す→【チャンネルの決定】B1,B2ボタンを同時に押す ※一定時間操作がない場合は、選択したチャンネルで通話が開始されます。 ※次回以降は最後に通話を行ったチャンネルで通話が開始されます。
通話の終了	B+FLEX 通話中にB1,B2ボタンを同時に押す
通話の再開	電源オンの状態でB1,B2ボタンを同時に押す(通話するユーザー全員この操作が必要です。) ※最後に接続したチャンネルで通話が再開されます。
オープンチャンネル(モード)とプライベートチャンネル(モード)の切替え	B+FLEX中にB1,B2ボタンを同時に2回押す ※終話前にプライベートチャンネルに入っていない場合は、上記の動作を行ってもプライベートチャンネルには切替わりません。
マイクのオン/オフ	B+FLEX 通話中の相手がいる状態でB1ボタンを2回押す B+FLEX通話が保ったまま、押すたびに自分のマイク音声が入オン、オフされる
ミュートのオン/オフ	B+FLEX通話中の相手がいる状態でB2ボタンを2回押す 操作ごとにマイクおよびスピーカーがミュートオン、オフされます。 B+FLEXの接続状態を維持したまま、通話から一時的に離脱することができます。 ガソリンスタンドなどで一時的に通話から抜けたい場合などに便利な機能です。

3.安全に正しくお使いいただくために

- B+COM 7X は精密部品で構成された電子機器です。ご使用になる前に、この「使用上の注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- 本書には、お使いになるあなたや、他の人々への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全なご使用のために守っていただきたい事項を記載しています。
- お子様がお使いになる場合は、保護者などの大人が本書をよくお読みになり、安全で正しい使い方をご指導ください。
- オートバイ運転中の携帯電話や通信機等の使用に関しては、事前に使用地域の法律条例等をご確認ください。
- オートバイ運転中に本製品を使用する場合、自己責任で安全運転を心掛けてください。
- 表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をご理解の上、本文をお読みください。

⚠ 危険

指示に従わない場合、死亡または重大な傷害に至ることを示します。

⚠ 警告

指示に従わない場合、死亡または重大な傷害に至る可能性があることを示します。

⚠ 注意

指示に従わない場合、傷害に至る可能性があることを示します。

<使用上の注意>

本製品は日本国内向けに設計・製造されています。海外ではその国の電波法に抵触する恐れがありますので、使用できません。

⚠ 危険

- 分解、改造、修理をしないでください。本製品の発熱、破裂、発火、感電、故障の原因となり、ケガをする恐れがあります。
- 水がかかる場所への放置、または水没させないでください。本製品は防水仕様ですが、長時間にわたり水がかかる環境下での使用は想定しておりません。また、本体が濡れた状態や濡れた手でコネクタやUSBジャック接続パーツの着脱を行わないでください。発熱、破裂、発火、感電、故障の原因となります。
- 高温多湿になる場所、熱器具の近くでの充電、放置は避けてください。発熱、破裂、発火、感電、本体の変形、故障の原因となります。
- 異常状態のまま使い続けしないでください。発煙や焦げ臭いなどの異常を放置して使用すると、発熱、破裂、発火、感電、本体の変形、故障の原因となります。ただちに使用を中止して、販売店に検査および修理の依頼をしてください。
- ボリューム設定に気を付けてください。突然の大音量、継続的な大音量は鼓膜の損傷や難聴の原因となります。
- 自動ドアなどの近くでは使用しないでください。自動ドアや火災報知器の自動制御装置が誤作動する恐れがあります。

⚠ 警告

- 気温の低い場所から、屋内などへ移動した場合、本体内に結露が発生することがあり、そのまま使用を続けたり、充電をすると発熱、破裂、発火、故障の原因となります。
- 大音量で聴きながらの運転は危険です。運転に必要な様々な音が聞き取れなくなり、重大な事故の原因となります。また、音に集中すると運転意識の低下につながり、重大な事故の原因となります。
- 雷鳴が聞こえた場合、ただちに使用を中止し、安全な場所に避難してください。落雷や感電に見舞われる恐れがあります。
- 医療機器等の近くでは電源を切り、使用はお控えください。マグネットの磁力やBluetoothの電波により、医療向け計測器、心臓ペースメーカーなどの正常な動作を損なう場合があります。それら機器をお使いの場合は、機器製造メーカーや販売店に影響をご確認ください。
- 本製品を航空機内で使用する場合は、客室乗務員の指示に従ってください。電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

⚠ 注意

- 電子機器（携帯電話、時計、テレビ、スピーカー、パソコンなど）、精密機器などに近づけると故障や誤作動の原因になります。
- 磁気記録媒体（フロッピーディスク、磁気カード、磁気テープ、プリペイドカード、切符、MDなど）のデータが破壊されたり、磁化されて使用できなくなる恐れがあります。本製品を近づけないでください。
- 砂場や砂浜など、砂ぼこりの多い場所では使用しないでください。砂鉄や鉄屑がマグネット部に付着し、本体の脱落や正常な動作を妨げる恐れがあります。

<電池に関するご注意>

B+COM 7Xは内蔵バッテリーにリチウムイオンバッテリーを使用しています。

⚠ 警告

- バッテリーパックから漏れた液が目や肌に付着した時は、こすらずに清潔な水で洗い流してください。洗い流した後は、早急に眼科や皮膚科などの医師の診断を受けてください。漏れた液が本体内部に残っていることがあるので、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 家庭用コンセントからの充電の際は指定のUSBチャージャーを使用してください。指定以外のUSBチャージャーを使用すると、発熱、破裂、発火、故障の原因となります。※PSEマーク付きの市販USBチャージャー定格:DC5V-0.6A以上1.0A以下
- USBチャージャーを使用する場合、指定以外の電源、電圧で充電しないでください。交流100V-240V以外の電源、電圧で充電すると火災や故障の原因となります。
- 長期間使用しない時はUSBチャージャーをコンセントから抜いてください。挿したままの状態では放置すると、発熱、破裂、発火、感電、故障の原因となります。
- 充電時には接続端子にゴミや汚れ、水分などが付いていないか確認してください。雨天使用時など製品を濡らした際は、水分が付着していないかご注意ください。水濡れ充電、異物混入充電は、火災や感電、故障の原因となります。
- 内蔵バッテリーは消耗品です。劣化した状態の内蔵バッテリーで製品を使用し続けるとバッテリーの発熱、破裂、発火、故障の原因となります。満充電後の使用時間が短くなった場合は、内蔵バッテリーの劣化が考えられます。内蔵バッテリーの交換（有償）を推奨します。弊社サポートセンターにご連絡ください。

⚠ 注意

- USBジャック、本体とマグネットクレードルの接続端子に金属片を接触させないでください。内蔵バッテリーがショートして発熱、破裂、発火する恐れがあります。

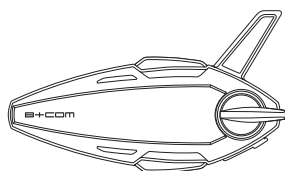


リチウムイオン電池のリサイクルにご協力ください。製品が不要になった場合には、お住まいの市区町村または自治体のルールに従って処分してください。

4.はじめに

セット内容

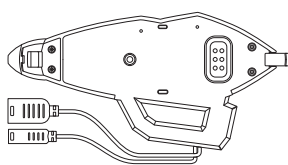
製品パッケージには以下のパーツが同梱されています。ご使用前にすべてが揃っていることをご確認ください。万が一、不足がございましたら、お手数ですがお買い求めいただいた販売店までご連絡ください。



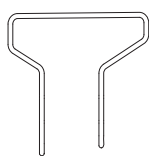
7X 本体ユニット



ベース用保護ラバー 大・小



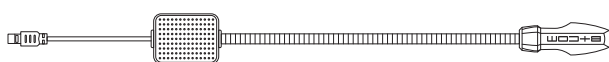
マグネットクレードル



ワイヤークリップ



ベース用面ファスナー大・小
(フック・ループ)



ハイブリッドアームマイク

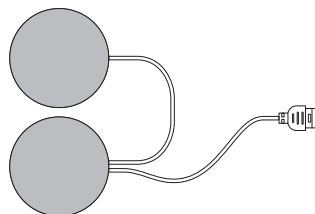
※ハイブリッドアームマイク用面ファスナーフックはマイクに貼付けされています。



ハイブリッドアームマイク用
面ファスナー(ループ)

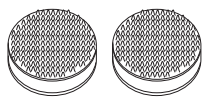


ワイヤーマイク



ヘルメットスピーカー

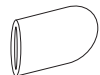
※スピーカー固定用面ファスナーフックはスピーカーに貼付けされています。



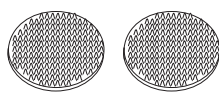
スピーカー固定用
調整パッド
×2枚



アームマイクスポンジ



ワイヤーマイクスポンジ



スピーカー固定用
面ファスナー
×ループ2枚



USB Type-Cケーブル



取付 /
クイックマニュアル

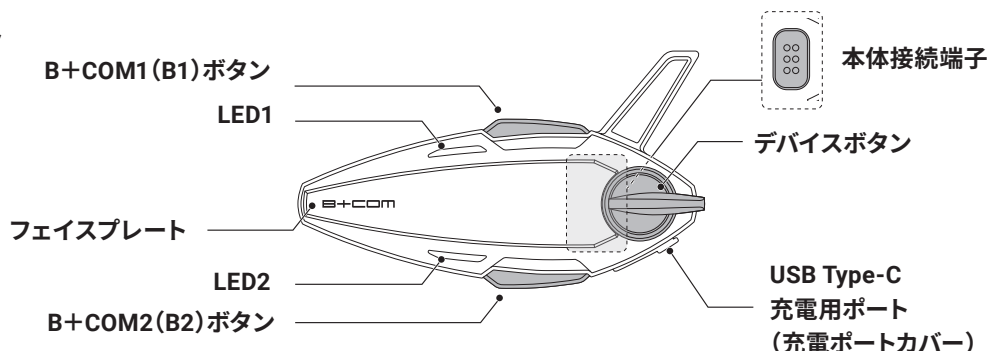


保証書

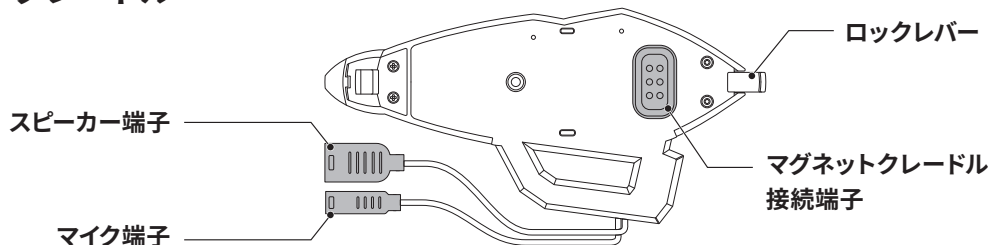
4.はじめに

各部の名称

本体ユニット

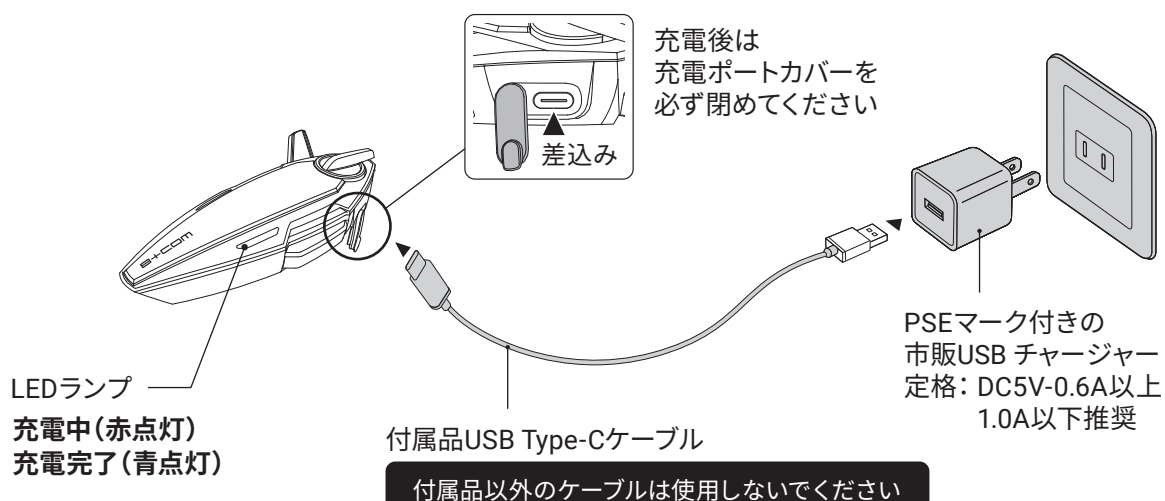


マグネットクレードル



充電方法

※本製品には、USBチャージャーは同梱されておりません。PSEマークの付いた市販のUSBチャージャーをご使用ください。



初めて使用するときは、必ず充電してください。

- ⚠ B+COM本体の充電は、付属の「USB Type-Cケーブル」を必ず使用してください。市販の「USB Type-Cケーブル」を使用した場合、本体の故障、トラブル(発熱、発火)の原因となる恐れがあります。
- ⚠ USB Type-C 端子へ挿入する際は、水分、ゴミ、汚れ等を必ず除去し、無理な力を掛けずに、正しく確実に挿入してください。
- ⚠ 使用後は必ず充電してから保管してください。長期保管時は、1ヶ月に1回程度は追充電を行ってください。
- ⚠ 充電ポートカバーが完全に閉まっていない状態で使用すると、異物や水分が浸入し、故障の原因となるおそれがあります。ご使用の際は、隙間が生じないように確実に閉めてください。

※1:急速充電には対応していません。

4.はじめに

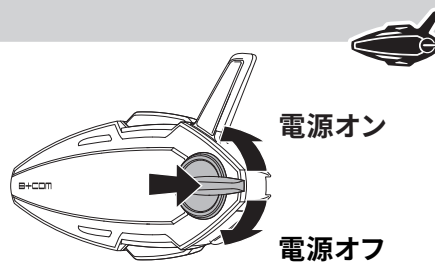
電源のオン / オフ

電源オン : デバイスボタンの中心を押したまま1秒間上げる

LED 青 流れる点滅 **サウンド** B+COM起動

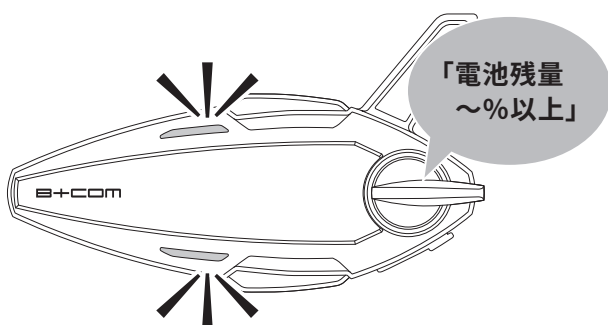
電源オフ : デバイスボタンの中心を押したまま1秒間下げる

LED 赤 流れる点滅 **サウンド** B+COM終了します



バッテリー残量の確認

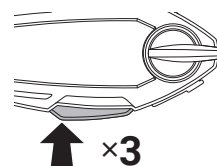
ステータスLEDの表示パターンおよび音声によって電池残量を確認できます。



電池残量の確認方法

電源のオン / オフ

B2を
3回連続で
押す



ステータスLED	電池残量、音声	状態
青全点灯	電池残量80%以上	電池残量が80%以上あります。
橙1/2点灯	電池残量50%以上	電池残量が50%以上あります。
赤1/3点灯	電池残量30%以上	電池残量が30%以上あります。
赤点滅	電池残量低下 充電してください	充電が必要な状態です。 充電してからご使用ください。
赤点滅	パーポー 電池残量低下 充電してください B+COM 終了します	充電がなくなり、自動で電源が オフになります。充電してください。

※電池残量は目安です。正確な使用可能時間を示すものではありません。

※自動電源オフ機能

デバイス接続がなく、ボタン操作がない状態でしばらく放置すると、自動で電源がオフになります。

4.はじめに

リセット機能

■本体のリセット機能

本製品には3つのリセット機能があります。状況に応じてご使用ください。

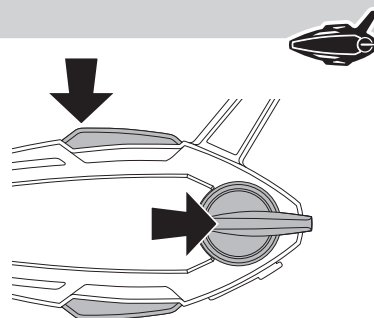
▼ 適切な操作をしても正しく動作しない場合、強制的にシステムを終了し、再起動する。

※設定値、ペアリング情報は維持されます。

ハードウェアリセット

B1 ボタン、デバイスボタンの中心を同時に 10 秒間長押ししたのち、指を離す。

※本操作後に本体が自動的に再起動します。



▼ デバイスとうまく接続しないときや、ファームウェアをアップデートした後、デバイスとのペアリングをやり直したい。

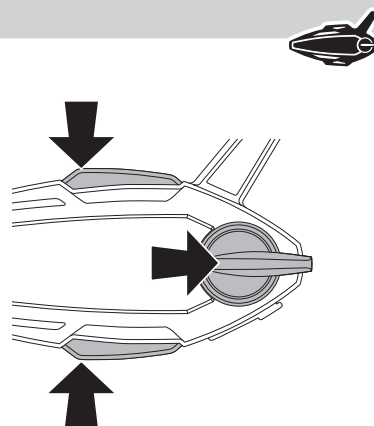
本体に登録されているペアリング情報を全て削除する。

ペアリングオールリセット

電源オフの状態で B1、B2 ボタン、デバイスボタンの中心を同時に3秒間長押し

サウンド オールリセット完了

LED 紫 3回点滅



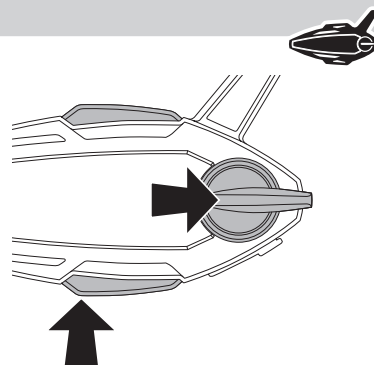
▼ 本体に登録されている全ての情報(設定値、ペアリング情報)を、初期化(工場出荷状態)する。

ファクトリーリセット

電源オンの状態で B2 ボタン、デバイスボタンの中心を同時に 10 秒間長押し

※本操作後に本体が自動的に再起動します。

LED 白 3回点滅



4.はじめに

取付方法

⚠ 装着時の注意点

- 本マニュアルおよびヘルメットの取扱説明書に従って作業を行ってください。
- 内装が脱着できるヘルメットは、耳に当たる部分の内装(チークパッド)を外しておく、作業がスムーズに進みます。
- 接着シートで貼付けるパーツは、取付位置を仮決めして、操作に支障がないことを確認した後、接着面の清掃、脱脂を行ってから貼付けてください。
- 余った配線は、傷つけないようヘルメットの帽体と内装の間に入れてください。
- 作業終了後、配線接続の最終確認をしてから動作確認を行ってください。
- ヘルメットにより簡単に取付できない場合がございます。その場合はヘルメットをご購入された販売店様へご相談ください。(ヘルメットを加工する場合、お客様の自己責任の上で、加工、装着を行ってください。)

詳しい「ヘルメット取付資料」はこちらからご確認ください

https://sygnhouse.jp/products/bcom/bcom_helmet/



取付手順

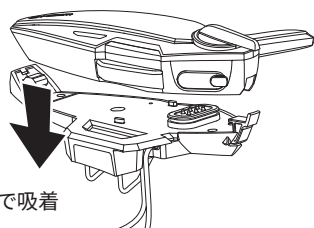


本体とマグネットクレードルの取付/取外方法

重要

本体にマグネットクレードルがついた状態で同梱されています。
ヘルメットに取付けする際は、本体を外してから取付してください。

取付け



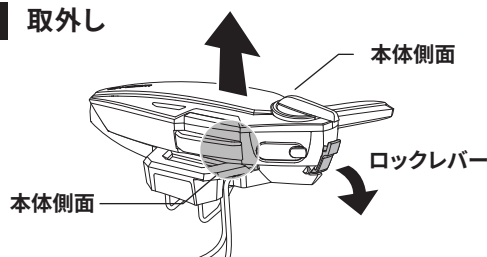
本体を近づけるとマグネットで吸着します。

- ※取付け後は本体とクレードルの間に隙間やがたつきがないことを確認して下さい。
- ※本体を取付ける際に異物や、水分などが入り込まないように注意してください。



本体とマグネットクレードルの端子部分を直接手で触らないようにしてください。
接触不良や静電気による動作不良を引き起こし、本製品が正常に動作しなくなる恐れがあります。

取外し



マグネットクレードルのロックレバーを押し下げながら、本体側面を上へ持ち上げます。

- ※取外す際はアンテナをひっぱったり、ロックレバーに無理な力を加えないようにして下さい。

4.はじめに

取付方法 B+COM 7Xの音質性能を最大限発揮させるには、取付位置が重要です。

■スピーカーの取付け

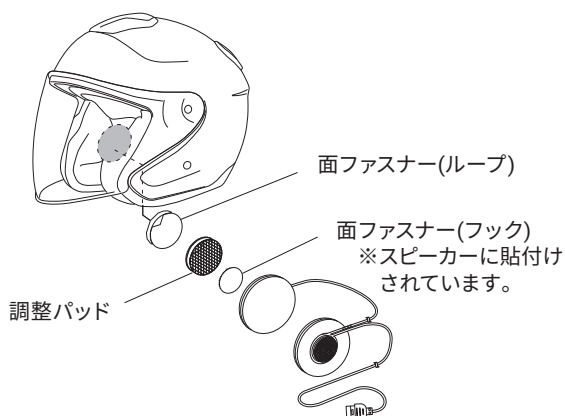
イヤースペースがあるタイプ

チークパッドを外し、面ファスナーのループをスピーカー設置場所に貼付け、スピーカーを固定します。

●調整パッド

耳とスピーカーの隙間が大きい場合、必要に応じて挟んでください。

(付属のパッド等で固定や調整が難しい場合は、市販の調整しやすいものを追加し、装着してください。)



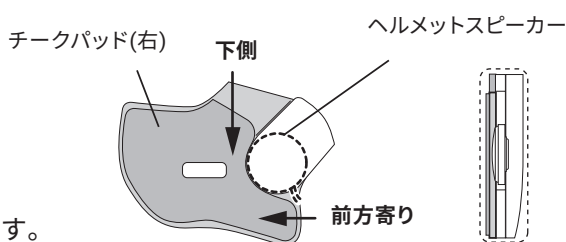
ジェットヘルメットなどのヘルメットは外音が入ることが多く、フルフェイスタイプと比べると音質が劣る傾向にあります。また、フルフェイスタイプであってもシールドやエアインテークの開閉状態により外音の入り込みが大きくなり、本来の音量、音質が得られない場合があります。

チークパッド(システムパッド)のイヤースペースが布で覆われ脱着できるタイプ (Arai社製など)

チークパッドを外し、布の中へスピーカーを入れて面ファスナーで固定してください。

スピーカーはイヤースペースの下側、前方寄りに取付けてください。

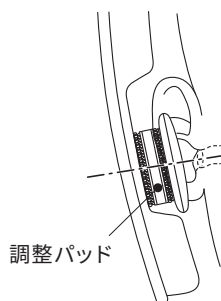
- ・耳の穴とスピーカーの中心が合いやすくなります。
- ・耳の入るスペースが空くので、圧迫感が少なくなります。



取付ける前に本来の音量・音質を確認しましょう！

スピーカー単体を耳にあて本来の音量や音質を確認しておきましょう。ヘルメットを被った際、ほぼ同じように聴こえることが重要です。位置が適正でないと、「耳が痛い」、「スピードを上げると聴こえない」、「音量を上げるとノイズがひどい」といった症状になります。

耳にやさしくフィットするよう調整パッドで隙間を調整してください。

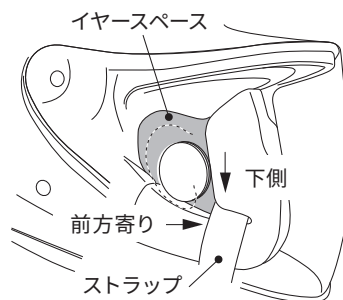


頭の大きさに合ったヘルメットへの装着が基本です。

耳の穴とスピーカーの中心を合わせます。

- 隙間が大きい
→本来の音量、音質が得られない可能性があります。
- 耳の中心からずれている
→本来の音量、音質が得られないだけでなく、長時間の使用で耳が痛くなる可能性があります。(特に耳の上部)

スピーカーはイヤースペースの下側、前方寄りに、ストラップの付け根に寄せるように取付けてください。



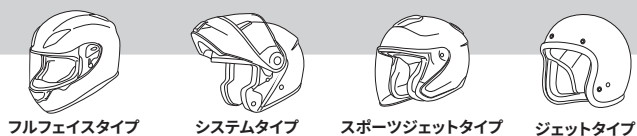
- 耳の穴とスピーカーの中心が合いやすくなります。
- 上側の耳たぶのスペースが空くので耳が押されにくくなり使用中に耳が痛くなりにくくなります。

4.はじめに

取付方法

ヘルメットタイプと取付手順の確認

ヘルメットの種類に合わせてマイクの取付方法を選びます。

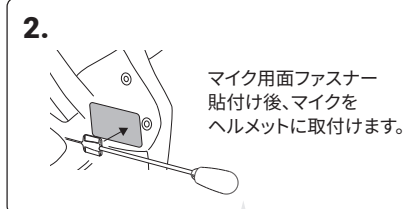
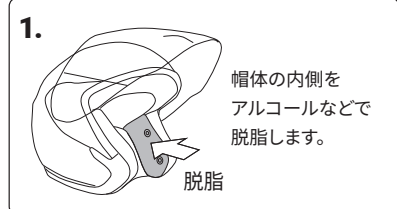


	ワイヤーマイク	○	×	×	×
	ハイブリッドアームマイク	×	○	○	○

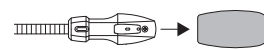
マイクの取付け

2種類のマイクが同梱されています。ヘルメットの種類に合わせてマイクの取付方法を選びます。

ハイブリッドアームマイクの取付け

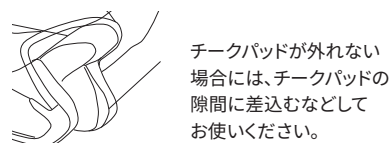


●マイクスポンジの取付

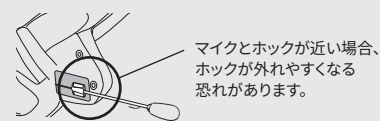


⚠ マイクスポンジは必ず取付けてご使用ください。
風切り音を軽減します。

チークパッドが取外せない場合



取付前のポイント マイク用面ファスナー、マイクを仮置きして貼付け位置を決定します。



POINT

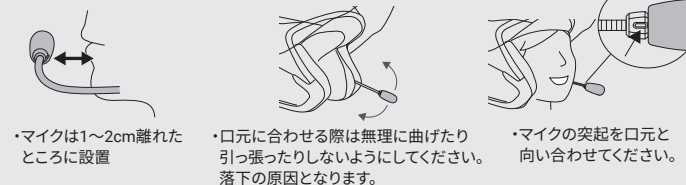
ホック
マイク用面ファスナーがヘルメットのホックに重なる場合はカットします。

ハイブリッドアームマイクを取付けると

取付するヘルメットによってチークパッドと帽体との間に隙間が生じる場合があります。



⚠ マイクについての注意点



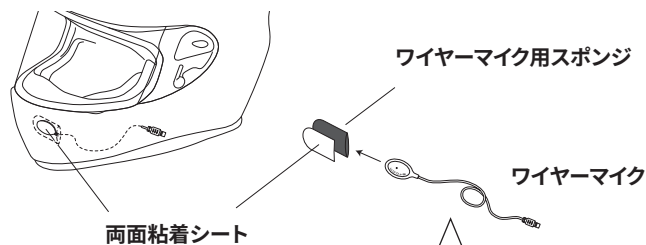
※走行中に巻き込み風や流速の早い風がヘルメットに当たる場合、風切り音となって大きいノイズが相手に聞こえてしまう場合があります。(シールド半開き時は特に増大します)

ワイヤーマイクの取付け

●マイクスポンジの取付け

チンガード部の口元に接着シート付きのワイヤーマイク用スポンジを貼付けます。

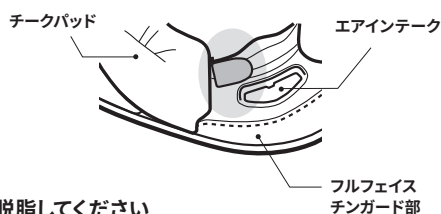
ワイヤーマイクはヘルメット帽体(外装)とチークパッド(内装)の隙間からケーブルが出るように配線し、マイクスポンジのスリットにマイクを挿入します。



●スポンジの取付位置

風の影響を受けやすい、エアインテークを避けた位置へ貼付けます。図を参考になるべく下からの巻き込み風が少ない上よりの位置に取付けてください。

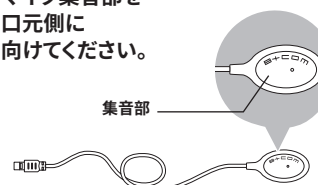
※貼付け前にスポンジ貼付位置を脱脂してください



ワイヤーマイクは穴の空いている面がマイク集音部です。

マイク集音部を口元側に向けてください。

集音部



4.はじめに

取付方法

■ マグネットクレードルの取付け

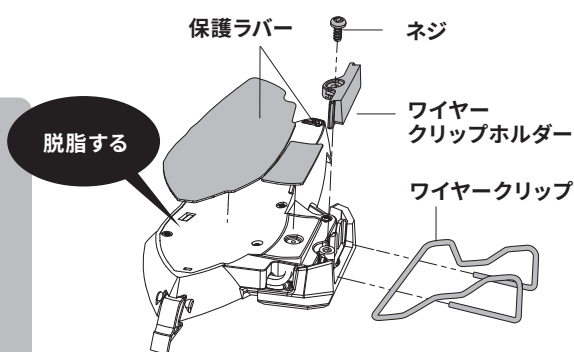
マグネットクレードルの取付方法は2種類あり、ヘルメットの仕様や使い勝手により取付方法をお選びください。

ワイヤークリップを使用 ▲組立にはドライバー No.1 が必要になります。

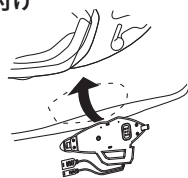
ヘルメット外装へ挟み込むため、確実なホールド性と高いフィット感が得られます。
保護ラバーはヘルメット外装への傷防止とグリップ力を高めます。

●ワイヤークリップの組立て

- ①+のドライバーNo.1でネジ、ワイヤークリップホルダーを取外します。
- ②保護ラバーの剥離紙をはがして貼付けます。
- ③ワイヤークリップをはめ込みます。
- ④外したワイヤークリップホルダーを取付けます。
- ⑤ネジで確実に固定します。



●ワイヤークリップの取付け



貼付けて使用



●面ファスナーで取付ける場合

付属の面ファスナーをマグネットクレードルとヘルメットに貼付けます。

ヘルメットとマグネットクレードルのカーブが大きく異なる場合は市販の強力な両面接着シートで隙間分を埋めてから貼付けてください。

⚠ 貼付けする面は必ず脱脂を行ってください。

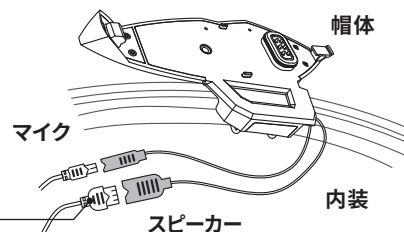
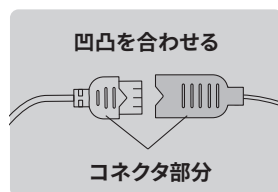
⚠ 貼付け後、約24時間保管しご使用ください。

マグネットクレードルのコネクタとマイク、スピーカーコネクタの接続

ヘルメットに取付けた後、マグネットクレードルのコネクタとマイクスピーカーのコネクタを接続してチークパッドを元に戻します。

※コネクタを接続する際はケーブルを引っ張らずコネクタ部分を持って抜き差しを行ってください。

※コネクタの端子の凹凸の向きに注意して差込んでください。



余ったケーブルは傷つけないようにヘルメット帽体と内装の間に押し込んでください

ケーブルが噛み込んだり、折れたりしないように気をつけて配線してください。またケーブルに無理に力がかかたりしないよう配線に余裕を持たせてください。

■ 本体の取付け

本体をマグネットクレードルに近づけるとマグネットで吸着します。

※走行時は本体を必ず取付けてください。

※本体を取付ける際に異物や、水分などが入り込まないよう注意してください。

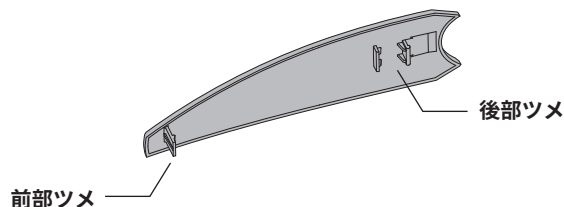


4.はじめに

取付方法

フェイスプレートの交換方法

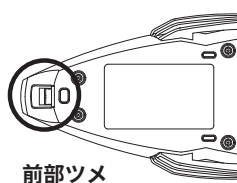
フェイスプレート



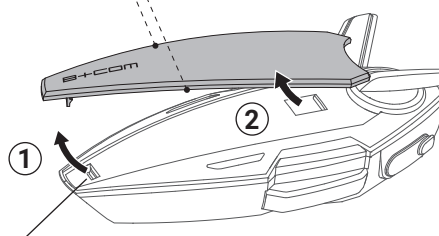
フェイスプレートの取外し

B+COM 本体を裏返して、先の細いドライバーなどで
①の前部ツメを外し、フェイスプレートのフチを摘んで
持ち上げると外れます。

本体裏面

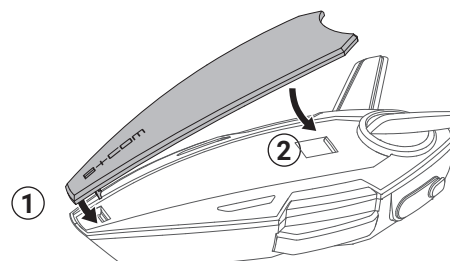


フチを摘んで持ち上げる



フェイスプレートの取付け

取付時は①の前部ツメから差込み、②の後部ツメを押し込んで
「パチッ」と音がするまではめこ込んで完了です。
走行中の脱落防止の為、フェイスプレートがしっかり固定
されていることを確認して下さい。



フェイスプレートの取付 / 取外し方法を動画で見る

▶ <https://youtu.be/3UTFUm9K99s>



5.スマートフォン(ナビ、レーダー等)との接続

接続方法

デバイス1と2	S-2
ペアリング	S-3
ペアリングのキャンセル	
オートコネクト	S-4
マニュアルコネクト	

操作方法

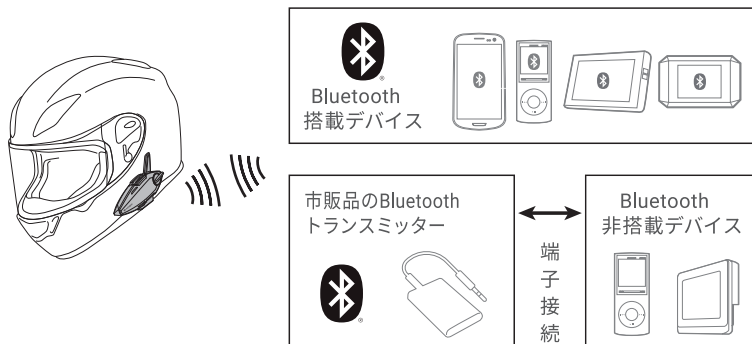
音楽再生	S-5
B+COM Ride Audio	S-6
電話に出る	S-7
電話をかける:スピードダイヤル	S-8
ナビ/レーダーの音声案内を聴く	S-9
スマートフォンの音声認識機能(Siri/Google アシスタント)	S-10

5.スマートフォン(ナビ、レーダー等)との接続

接続方法

Ⅰデバイス1と2

7Xで各デバイス(スマートフォン、音楽プレーヤー、ナビゲーションなど)とBluetooth通信をするためには、最初にペアリング(初期登録)を行う必要があります。デバイスの種類が違って、7X側のペアリング操作方法は同じです。



デバイス1へ登録して接続(AVRCP対応)

スタンダードなデバイス接続機能。

デバイス1接続に最適な機器:

- ・1台目のスマートフォン
(着信応答、スマートダイヤル、音楽、ナビ、ラジオ、電話通話、Siri、ボイスコマンド、B+FLEX APP)
- ・音楽プレーヤー (AVRCP搭載機はリモコン操作可能)
- ・A2DP出力バイクナビ/レーダー

B+COM Ride Audio機能(デバイス1のA2DPの音声のみに適用されます。)

スピードダイヤル機能



デバイス1に接続したスマートフォンのみ、専用スマートフォンアプリ「B+FLEX APP」を使ってB+COMの操作、プライベートチャンネルなどの機能を使用できます。 ※画面は7X EVO 使用時のイメージですが、7Xも同様です。



デバイス2へ登録して接続

本製品側からリモコン操作、リダイヤル発信操作ができません。

デバイス2接続に最適な機器:

- ・2台目のスマートフォン (ナビアプリ、着信応答のみ)
- ・HFP/HSP出力のバイクナビ/レーダー

<A2DPデュアルストリーミング機能>

デバイス1とデバイス2に接続したデバイスのA2DP音声を同時に聞くことが可能です。

5.スマートフォン(ナビ、レーダー等)との接続

接続方法

1 ペ어링



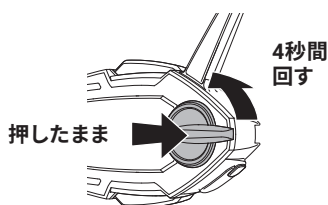
デバイス1に接続したスマートフォンのみ、専用スマートフォンアプリ「B+FLEX APP」を使ってB+COMの操作、プライベートチャンネルなどの機能を使用できます。 ※画面は7X EVO 使用時のイメージですが、7Xも同様です。



開梱時や、オールリセットを行った後の本体にペ어링情報がない場合、電源オンで自動でデバイス1のペ어링モードになります。 →その場合は、下記のスマートフォンの操作から行ってください。

デバイス1にペ어링する ※スマートフォン以外のデバイスをペ어링する場合も同様の操作です。

電源オフの状態ですべてのボタンを押し続けたまま上へ4秒間回す



LED LED1:青 流れる点滅
サウンド デバイス1ペ어링

デバイス2に登録したい場合

デバイス1ペ어링モード中にデバイスボタンを2回押す

LED LED2:青 流れる点滅
サウンド デバイス2ペ어링

スマートフォンの操作

スマートフォンのBluetooth設定から【7X_V1.00_xxxx】を選択してください。

※操作方法は各スマートフォンの取扱方法をご確認ください。
※xxxx部分は個体識別番号のため各個体で異なります。

デバイス1にペ어링

LED 青 ゆっくり点滅
サウンド デバイス1接続

⚠ 一度ペ어링を行えば、電源のオン/オフを行ってもペ어링済みの情報は消えないので、電源を入れてすぐに自動で接続が可能です。

ペ어링のキャンセル方法

デバイス1のペ어링状態にする

電源オフの状態ですべてのボタンを押し続けたまま上へ4秒間回す

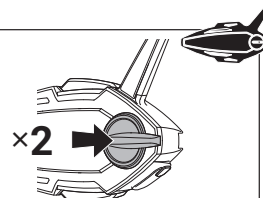
デバイス2のペ어링状態にする

デバイスボタンを2回押す

ペ어링のキャンセル

デバイス2のペ어링状態中にデバイスボタンの中心を2回押す

サウンド ペ어링終了



5.スマートフォン(ナビ、レーダー等)との接続

接続方法

■オートコネクト

電源を入れると、自動(オートコネクト)でペアリング済みのデバイスと接続します

デバイス1、または2に
ペアリング済みのデバイス

電源を入れる、
もしくは
Bluetoothをオンにする。

電源を入れると、自動(オートコネクト)で
登録済みのデバイスを探し、自動で接続します。

LED 青 ゆっくり点滅 ※デバイス検索中は「青流れる点滅(往復)」

サウンド

「B+COM起動」→「ポンポーン」(サーチ音)→「デバイス1接続」

デバイス1、デバイス2、それぞれ2台ずつまでです。2台目以降に登録すると、一番接続履歴の古い機器の登録が解除されます。再度登録するには新たにペアリングが必要です。

※接続機器の機種およびOSバージョンにより、切替えや音声認識機能などで動作不安定になる場合があります。

※接続しているデバイスやプレーヤー、アプリによって仕様が異なるため、正しく動作しない場合がございます。

自動で接続(オートコネクト)ができなかった場合マニュアルコネクトで接続します

オートコネクトの接続ができなかった場合、以下の操作を行うことで登録済みのデバイスを自動で探して接続を行います。以下の場合はスマートフォンとB+COMに残っている登録情報を削除し、再度ペアリングを行ってください。

- ・ペアリングオールリセットを行った場合
- ・メモリー上限数2台を超えた古い登録のデバイス(メモリー上限数:デバイス1=2台、デバイス2=2台)
- ・デバイス側で本製品の登録情報を消去した場合
- ・本製品またはデバイスのアップデートを行った場合

※この場合はペアリングオールリセットを行ってから、再度ペアリングを行ってください。

■マニュアルコネクト

デバイス1、または2に
ペアリング済みのデバイス

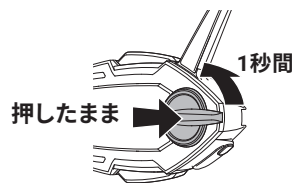
電源を入れる、
もしくは
Bluetoothをオンにする。

電源オンの状態で接続できなかった場合は、
デバイスボタンの中心を押したまま上へ1秒間回す

LED 青 流れる点滅

サウンド

「ポンポーン」(サーチ音)
→「デバイス接続」



B+COM側からの接続を受け付けられないデバイスの場合や、
デバイス側操作で接続したい場合は、以下の方法でデバイスから接続を行ってください。

電源オンを確認。
電源起動後の
オートコネクトサーチが
終了した状態。

LED 青 点滅

デバイス側の
Bluetoothをオン。
登録済み機器リストから
「7X_v1.00_xxxx」を
選択。

LED 青 ゆっくり点滅

サウンド

「デバイス1(または2)接続」

5.スマートフォン(ナビ、レーダー等)との接続

操作方法

■音楽再生

スマートフォンや音楽プレーヤーなどと接続することでステレオサウンドをワイヤレスで楽しめます。



デバイス側の操作

B+COMとペアリング接続したスマートフォンのナビアプリを起動して音声案内を開始します。
デバイス側で音楽などを再生します。スマートフォンはアプリ操作で音楽やラジオを再生します。

<アプリ例>音楽プレーヤー / ラジオアプリ / Podcast / その他音声コンテンツ

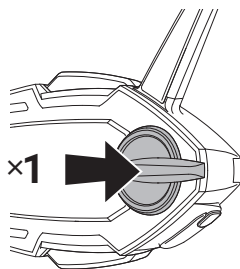
※接続しているデバイスやプレーヤー、アプリによって仕様が異なるため下記の動作とならない場合があります。



B+COMの操作

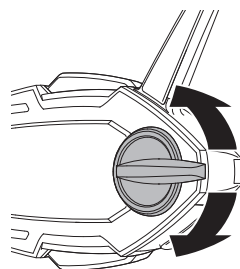
デバイス側で音楽などを再生すると、B+COMのスピーカーから音声が出力されます。
音楽再生中は以下の操作が可能です。

再生 / 一時停止



デバイスボタンの中心を1回押す

音量調整

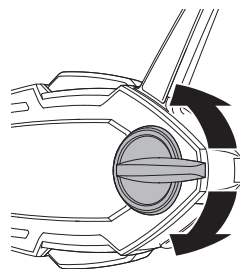


デバイスボタンのつまみを

上に1回: 音量が上がる

下に1回: 音量が下がる

曲の頭出し / スキップ



デバイスボタンのつまみを

上に1秒間: スキップ

下に1秒間: 曲の頭出し

5.スマートフォン(ナビ、レーダー等)との接続

操作方法

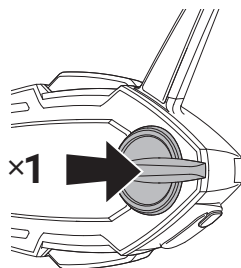
■ 電話にでる

登録済みのスマートフォンと接続することでスマートフォンのハンズフリー機能が使用可能です。



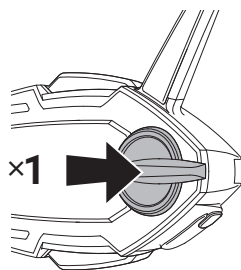
音楽再生中は曲が停止し、着信音になります。

着信応答



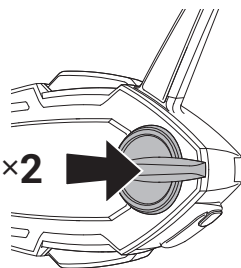
着信中にデバイスボタンの中心を1回押す

着信終話



通話中にデバイスボタンの中心を1回押す

着信拒否



着信中にデバイスボタンの中心を2回押す

5.スマートフォン(ナビ、レーダー等)との接続

操作方法

■ 電話をかける:スピードダイヤル

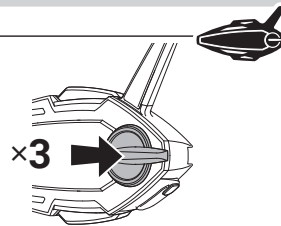
スピードダイヤルによく電話する人を登録することで、少ない動作で電話をかけたり、リダイヤルをすることが可能です。



スピードダイヤルへの登録は、専用スマートフォンアプリ「B+FLEX APP」から可能です。詳しくはA-13(B+FLEX)ページをご参照ください。

スピードダイヤル機能がオンの状態で、デバイスボタンの中心を3回押します。

サウンド スピードダイヤル 最後の発信履歴

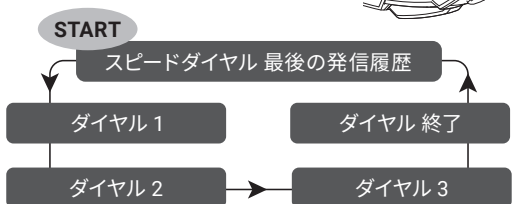


デバイスボタンのつまみを上に1回

LED 緑 2回点滅

サウンド

以下の順でループします

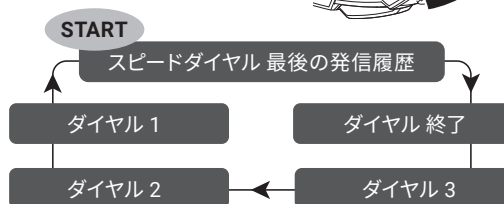


デバイスボタンのつまみを下に1回

LED 緑 2回点滅

サウンド

以下の順でループします

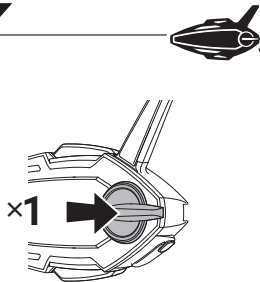


発信

選択した項目でデバイスボタンの中心を1回押す

サウンド

スピードダイヤル ○○ 発信

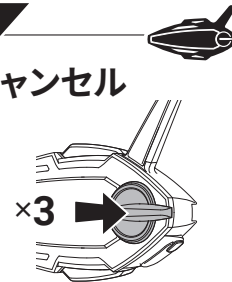


スピードダイヤルキャンセル

デバイスボタンの中心を3回押す

サウンド

スピードダイヤル終了



■ B+FLEX APPでのスピードダイヤル発信

スピードダイヤルの登録、編集はA-13(B+FLEX)ページをご参照ください

登録しているスピードダイヤルを選び、発信ができます



※画面は7X EVO 使用時のイメージですが、7Xも同様です。

5.スマートフォン(ナビ、レーダー等)との接続

操作方法

■ ナビ / レーダーの音声案内を聴く



デバイス側の操作

B+COMと接続したバイクナビやバイクレーダーの音声案内を開始します。
スマートフォンはナビアプリを起動して音声案内を開始します。



B+COMの操作

デバイス側でナビの音声案内などを開始すると、B+COMのスピーカーから音声が出力されます。
ナビの音声出力のプロファイルによって、聴こえ方が異なります。



A2DPのナビ

[音声再生プロファイル]

(音楽プレーヤー、スマートフォンのアプリなどの音声出力と同じ)

携帯電話着信時: ナビ音声出力を停止し電話の着信音に切替わります。

A2DPデュアルストリーミング機能により、2つのA2DP音声をミックスすることが可能です。
A2DPデュアルストリーミング機能の詳細については、S-2ページをご参照ください。



HSP/HFPのナビ

[ハンズフリー / ヘッドセットプロファイル]

(携帯電話、スマートフォンなどのハンズフリー通話と同じ出力)

音楽再生時: 音楽が一時停止してナビ音声出力 (音楽再生に自動で戻ります※)

※自動で再生しない場合はB+COM側で再生操作を試みてください。



HSP/HFP出力のナビ、レーダーの場合、携帯電話やスマートフォンとの併用は動作不安定になることがあります。

5.スマートフォン(ナビ、レーダー等)との接続

操作方法

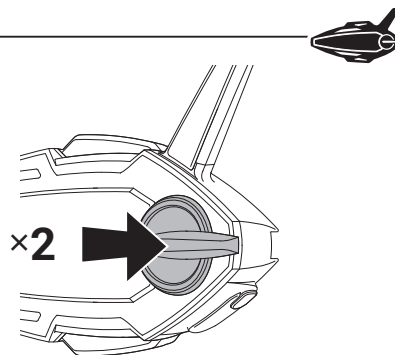
■スマートフォンの音声認識機能 Siri / Googleアシスタント

デバイス1に接続した携帯電話のみ操作が可能です。

デバイスボタンの中心を2回押す

サウンド

スマートフォン側の音声認識機能の開始音



音声指示

※「Hey Siri」「OK Google」の発話による
起動はできません。



※iOS/Androidのバージョンアップにより正常に動作しなくなる可能性があります。また、その場合における動作保証はいたしかねます。

6.インカムとの接続<B+FLEX>

B+FLEXについて

F-2

オープンチャンネル(モード)で通話する

本体での操作方法

F-3

チャンネルの変更方法

B+FLEX APPのオープンチャンネル画面

F-4

B+FLEX APPでの操作

F-5

オープンチャンネルの変更方法

オープンチャンネルの終了

プライベートチャンネル(モード)で通話する

B+FLEX APPのプライベートチャンネル画面ペアリング

F-6

チャンネルの新規作成とシェア

F-7

2次元コードをシェアする場合

F-8

URLをシェアする場合

F-9

プライベートチャンネル(モード)のONLINE通話

B+FLEX ONLINE(β版)

F-10

B+FLEX ACTIVE-SWITCH

B+FLEX ONLINE(β版)の設定

B+COM本体での共通操作

通話の再開

F-11

本体でのオープンチャンネルとプライベートチャンネルの切替

F-12

**B+FLEX APP****B+FLEX**

ダウンロードはこちらから

<https://sygnhouse.jp/bflex-app/>

6. インカムとの接続<B+FLEX>

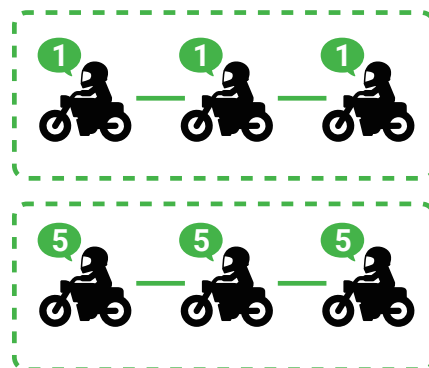
B+FLEXについて

■20人でつながり、接続もさらにスムーズ。すべてがもっとカンタンに。

オープンチャンネル(モード)

最短1アクション!チャンネルを合わせるだけで通話が可能。
人数無制限で繋がれます。
同じチャンネルに入った全てのユーザーと通話ができます。

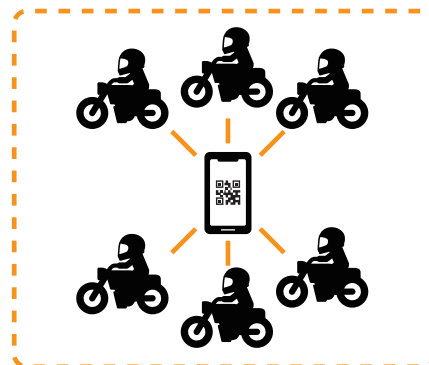
接続人数	無制限
接続対象者	同じチャンネルに入った全てのユーザー
B+FLEX MESH	○
B+FLEX オンライン	×
B+COM本体のみで操作	○
アプリで操作	○



プライベートチャンネル(モード)

専用アプリ<B+FLEX APP>を使って仲間だけの通話が可能。
二次元コードなどで簡単に繋がれます。
招待されたメンバーのみのグループ通話になります。
メンバー全員がB+FLEX APP(スマートフォンアプリ)を使用する必要があります。
プライベートチャンネルのみオンライン通話(β版)が可能です。

接続人数	最大20人
接続対象者	作成者、招待されたメンバーのみ
B+FLEX MESH	○
B+FLEX オンライン	○
B+COM本体のみで操作	×
アプリで操作	○



6. インカムとの接続<B+FLEX>

オープンチャンネル(モード)で通話する

■ 本体での操作方法

7Xは電源を入れ、ボタンを押す **1アクション** でインカム通話が可能です。

本体の電源をオンにする

B1、B2ボタンを同時に押す

LED 緑点滅2回

サウンド B+FLEX オープンモード開始

※通話するユーザー全員この操作が必要です。

B1、B2
ボタンを
同時に押す

同じチャンネルのユーザーと通話が始まります



- ・出荷時は「チャンネル1」に設定されています。
- ・次回オープンチャンネル使用時は最後に選択したチャンネルが引き継がれます。
- ・オープンチャンネルは同じチャンネルに入った全てのユーザーとの通話になります。

通話の終了 B1、B2ボタンを同時に押す

サウンド B+FLEX オープンモード終了

■ チャンネルの変更方法

オープンモード中にB1、B2ボタンを同時に3秒間長押しする

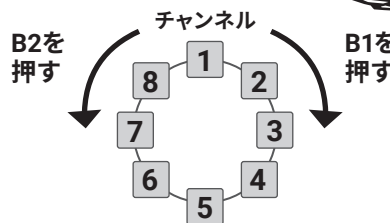
LED 緑点滅2回

サウンド B+FLEX オープンモードチャンネル選択

【チャンネルの選択】

B1、B2ボタンのどちらかを押す

LED チャンネル「○○」 ※ボタンを押すごとに順番に切替わります。



【チャンネルの決定】

選んだチャンネルの状態
B1、B2ボタンを同時に押す

サウンド チャンネル「○○」B+FLEX オープンモード開始

※一定時間操作がない場合は、選択したチャンネルで通話が始まります。



B+FLEX APP
B+FLEX

B+FLEX APPではチャンネルを
タップすることで簡単に
チャンネルを変更することが
できます。→詳しくは次のページへ

※画面は 7X EVO 使用時のイメージですが、
7Xも同様です。



6. インカムとの接続＜B+FLEX＞

オープンチャンネル(モード)で通話する

■ B+FLEX APPのオープンチャンネル画面

オープンチャンネル通話中は
この表示で確認できます



押すだけカンタン

オープンチャンネル選択ボタン

入りたいチャンネルの数字を
タップするとオープンモードの通話が始められます
もう一度タップすると終了します

他のチャンネルを
タップするとチャンネルを移動して通話が始められます

オープンチャンネル(モード)の通話方法はF-5(インカム接続)ページをご参照ください。

6. インカムとの接続<B+FLEX>

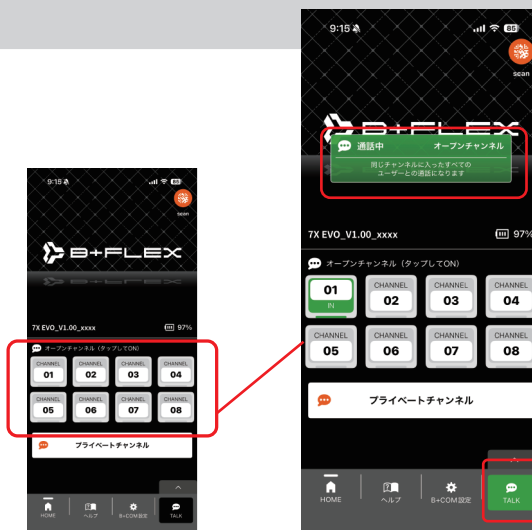
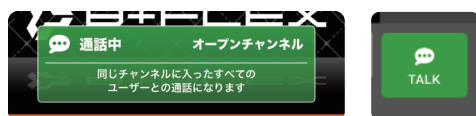
オープンチャンネル(モード)で通話する

■ B+FLEX APPでの操作

チャンネルの数字をタップするだけで
オープンチャンネルが起動できます。

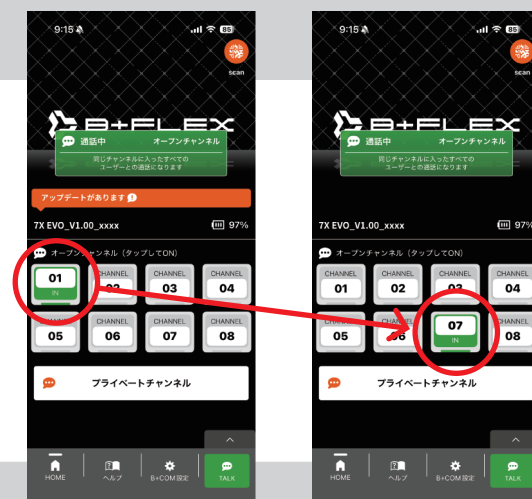
通話中は画面に「通話中の表示」と
「TALK」が緑になります。

通話中



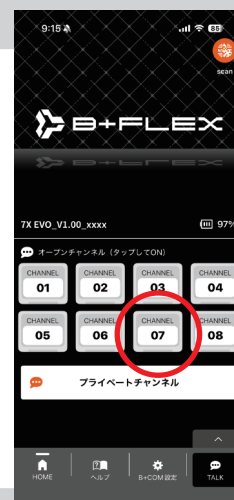
■ オープンチャンネルの変更

チャンネルの数字をタップするだけで、
チャンネルが変更できます。



■ オープンチャンネルの終了

現在入っているチャンネルをタップすると、
オープンチャンネルを終了します。



6. インカムとの接続<B+FLEX>

プライベートチャンネル(モード)で通話する

■ B+FLEX APPのプライベートチャンネル画面

プライベートチャンネルのシェア用の二次元コード、URLを表示します

プライベートチャンネルへの参加、終了ができます

IN (参加) OUT (終了)

リストから選択
もしくは
新規作成して詳細へ

自分の端末名
▼
7X EVO_V1.00_xxxA
98%
▲
本体のバッテリー残量

MESH, ONLINEのどちらで繋がっているかを確認できます

- B+FLEX ONLINE (β版) オフ / B+FLEX MESHで通話中
- B+FLEX ONLINE (β版) オン / B+FLEX MESHで通話中
- B+FLEX ONLINE (β版) で通話中

タップすることで
B+FLEX ONLINE (β版) の
オンオフの設定ができます

→設定方法は
F-10ページ(インカム接続)を
ご確認ください。

作成したプライベートチャンネルに入っているメンバーを表示します

メンバーの接続状況

- MESH接続
- ONLINE接続

メンバーの端末名が表示されます

7X EVO_V1.00_xxxB

※Androidのみ

6. インカムとの接続<B+FLEX>

プライベートチャンネル(モード)で通話する

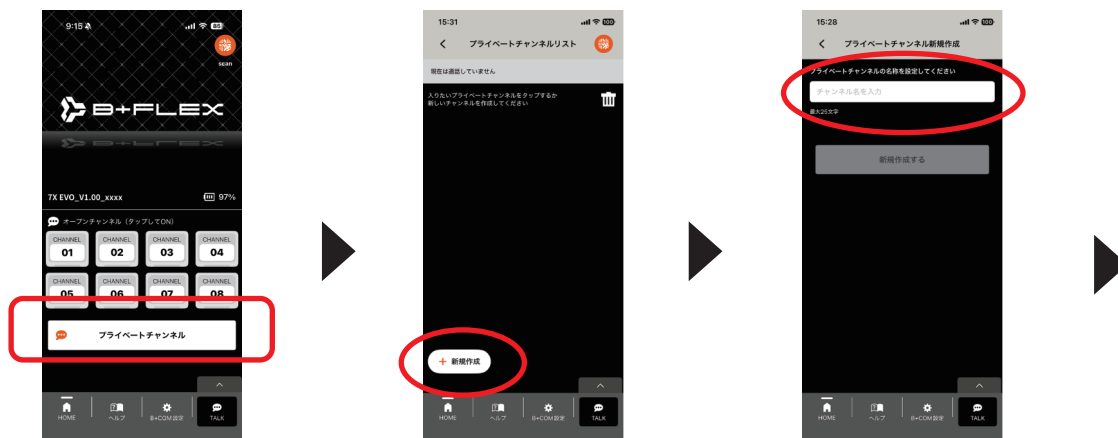
■チャンネルの新規作成とシェア

専用スマートフォンアプリ<B+FLEX APP>を使って仲間だけのグループ通話が可能です。

メンバー全員が<B+FLEX APP>を使う必要があります。

プライベートチャンネルで通話するには、「チャンネルの新規作成、シェア」と「メンバーの招待」が必要です。

※メンバーの誰か1人が作成します。



「プライベートチャンネル」

「新規作成」

チャンネル名を入力し、「作成」



プライベートチャンネルの作成完了

リストに保有できるチャンネルは10件です。

リストに10件あるとチャンネルを新規作成することができません。

また、シェアされたチャンネルに入ることができません。

6. インカムとの接続<B+FLEX>

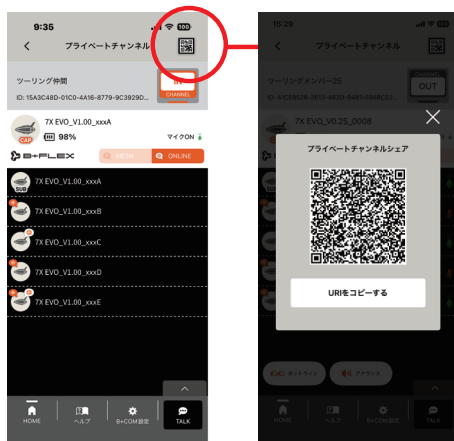
プライベートチャンネル(モード)で通話する

■ 2次元コードをシェアする場合

二次元コードを読み取る際はB+FLEX APPのカメラ機能を使って読み取ってください。

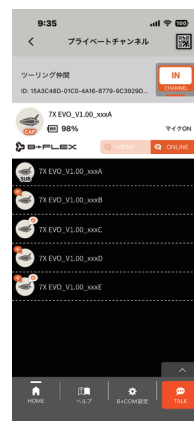
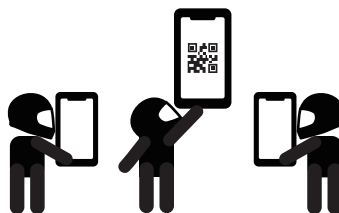
シェアする人

チャンネル作成者および、すでに参加しているメンバーは、シェアすることが可能です。

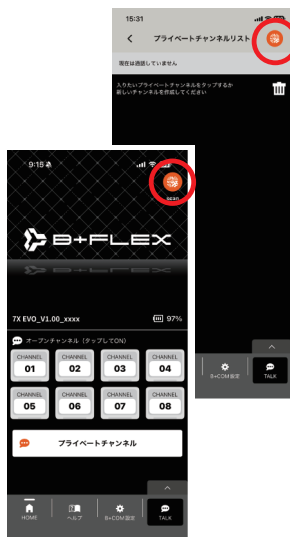


プライベートチャンネルシェアの
二次元コードをシェアする

二次元コードを読み取ります



参加者



scanボタンを押してカメラを起動します

※カメラ機能はB+FLEX APPのHOME及びプライベートチャンネルリストの右上のボタンから起動できます。



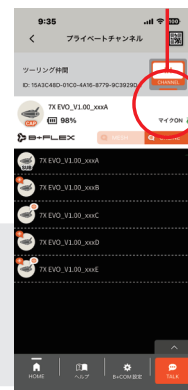
通話が始まります

LED 橙 2回点滅

サウンド

B+FLEXプライベートモード開始

IN / OUTボタン



通話の終了 本体とアプリ、どちらからでも終話することができます。

本体 : B1、B2ボタンを同時に押す
アプリ: IN / OUTボタンを押す

サウンド B+FLEX プライベートモード終了

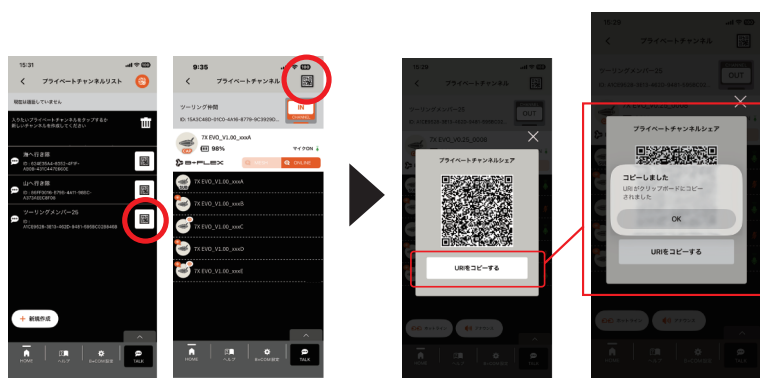
6. インカムとの接続<B+FLEX>

プライベートチャンネル(モード)で通話する

URLをシェアする場合

シェアする人

チャンネル作成者および、すでに参加しているメンバーは、シェアすることが可能です。



シェアボタンを押して
二次元コードを表示する

「URLをコピーする」
お使いのメールやSNSなどに
URLを貼付けてメンバーに
シェアします。

参加者



送られてきたURLをタップ

通話が始まります

LED 橙 2回点滅

サウンド

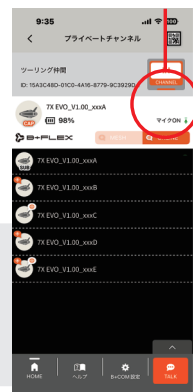
B+FLEXプライベートモード開始

通話の終了 本体とアプリ、どちらからでも終話することができます。

本体 : B1、B2ボタンを同時に押す
アプリ: IN / OUTボタンを押す

サウンド B+FLEX プライベートモード終了

IN / OUTボタン



6. インカムとの接続<B+FLEX>

プライベートチャンネル(モード)のONLINE通話

B+FLEX ONLINE(β版) どれだけ離れても、つながり続ける。新しい通信のカタチ。

Bluetooth接続したスマートフォンのモバイル回線を使用するオンライン通話機能です。インカム通信圏内から離れてしまった場合でも、通話を保ったまま自動でオンライン通話に切替わるので、距離による制限がなく会話を楽しめます。

※B+FLEX ONLINEの使用にはB+FLEX APPが必要です。

※B+FLEX ONLINEはβ版での提供となります。使用環境によっては不安定な症状が発生する可能性があります。

また、機能の一部や使用条件など、予告なく変更される場合があります。

※B+FLEX ONLINE(β版)はプライベートチャンネルだけの機能です。

※スマートフォンのデータ通信料が発生いたします。

B+FLEX ACTIVE-SWITCH

MESHとONLINEという二つの通信方式が、一つのグループ内で完全に共存し、自動で最適化。

近くの仲間とは、20人まで瞬時に編み上がる「B+FLEX MESH」で。

遠くの仲間とは、距離の壁を消し去る「B+FLEX ONLINE」で。

ライダーが操作することなく、状況に合わせてB+COMが自ら通信経路を選択し、シームレスに繋ぎ合わせるハイブリッドな通信機能。



B+FLEX ONLINEの設定

B+FLEX ONLINEの通話のオン/オフが可能です。
オフにすることでオンライン通話への自動切替えをしない設定に変更することができます。

※B+FLEX ONLINEはβ版での提供となります。
使用環境によっては不安定な症状が発生する可能性があります。
また、機能の一部や使用条件など、予告なく変更される場合があります。



6. インカムとの接続<B+FLEX>

B+COM本体での共通操作

■ 通話の再開

7Xは終話した時や、電源オフ時の最後に通話したチャンネルを引き継ぎます。
プライベートチャンネルで電源オフにした場合、プライベートチャンネルで接続した最後のチャンネルに接続します。

通話の終了後に再度通話を開始をする場合

「ツーリング中に休憩のためB+COMの電源をオフにした」
「最後にツーリングに行った同じグループで再度通話を開始したい」などに、

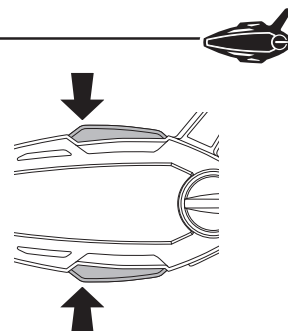
B1、B2ボタンを同時に押します ※通話する方全員この操作が必要です。

オープンチャンネルで通話が再開される場合

LED 緑点滅2回 **サウンド** B+FLEX オープンモード開始

プライベートチャンネルで通話が再開される場合

LED 橙点滅2回 **サウンド** B+FLEX プライベートモード開始



最後に接続したチャンネルで通話が再開されます。

オープンチャンネルで終話した場合は、最後に入っていたオープンチャンネルのチャンネル番号で再開されます。

プライベートチャンネルで終話した場合は、最後のプライベートチャンネルのグループで再開されます。

※プライベートチャンネル再開時にスマートフォンと接続されていない場合、B+FLEX ONLINEは使用できません。
デバイス1にスマートフォンを再度接続してください。

6. インカムとの接続<B+FLEX>

B+COM本体での共通操作

■ 本体でのオープンチャンネルとプライベートチャンネルの切替

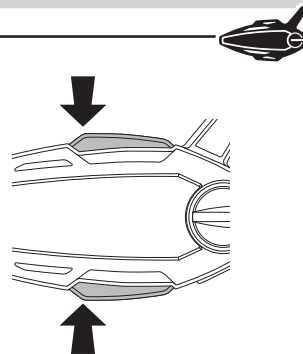
B1、B2ボタンを同時に2回押します

オープンチャンネルに切替わる場合

LED 緑点滅2回 **サウンド** B+FLEX オープンモード開始

プライベートチャンネルに切替わる場合

LED 橙点滅2回 **サウンド** B+FLEX プライベートモード開始



最後に接続していたチャンネルに切替わります

オープンチャンネルからプライベートチャンネルに切替わる場合は、最後に入っていたプライベートチャンネルのグループで再開されます。

プライベートチャンネルからオープンチャンネルに切替わる場合は、最後に入っていたオープンチャンネルのチャンネル番号に切替わります。

※終話前にプライベートチャンネルに入っていない場合は、上記の動作を行ってもプライベートチャンネルには切替わりません。

押すだけカンタン



専用スマートフォンアプリ 「B+FLEX APP」を使うと、カンタン

オープンチャンネル選択ボタン

入りたいチャンネルの数字を
タップするとオープンモードの通話が始まります
もう一度タップすると終了します

他のチャンネルを
タップするとチャンネルを移動して通話が始まります



インカムとの接続

7.インカムとの接続<ユニバーサル>

B+LINK 搭載モデルと通話する

B+LINKシリーズをお使いのお客さまへ U-2

B+LINK搭載モデルとの通話方法 U-3

その他モデルと通話する

ユニバーサル・コール U-4

ユニバーサル・レシーブ U-5

ユニバーサル通話の再接続

U-6

7.インカムとの接続<ユニバーサル>

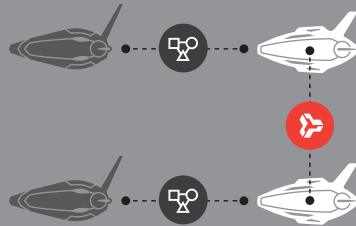
B+LINKシリーズをお使いのお客さまへ SB6X,SB6XR,ONE,SX1

7X に搭載の「B+FLEX通信」と従来モデルの「B+LINK通信」は、それぞれ異なる通信方式を採用しているため、ユニバーサル接続を利用して通信いただく形となります。

B+FLEXとユニバーサル【2対2】



推奨

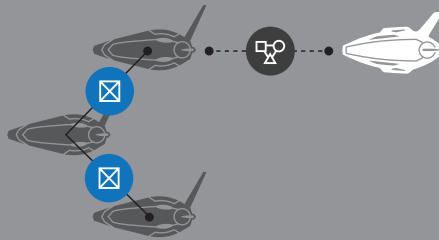


通信方式の混在による影響が少なく、安定した通話が可能です。

ユニバーサルとB+LINK【3対1】



条件付き可

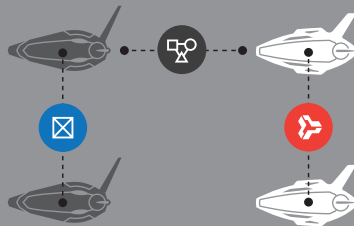


通信方式の混在により、通話中に一定頻度でノイズが発生し、通信が不安定になる場合があります。

B+FLEXとユニバーサルとB+LINK【2対2】



非推奨



3種類の通信方式が混在するため、構成上の特性として通話品質が大きく劣化し、実用が困難となる組み合わせです。

ユニバーサル通話中は、下記機能が使用できません。

聴きトーク / B+FLEX ONLINE

7. インカムとの接続<ユニバーサル>

B+LINK搭載モデルと通話する SB6X,SB6XR,ONE,SX1

■ B+LINK搭載モデルとの通話方法

B+COM SB6XRの場合

B+LINKではなくユニバーサル・レシーブ機能を使用します。

SB6XR

電源オンの状態でB2ボタンを3秒間長押しし、
「ユニバーサル・レシーブ」モードにします。

※詳しい操作は各インカムの取扱説明書をご参照ください。

7X

「ユニバーサル・コール」モードにする

1. 電源オンの状態でB2ボタンを3秒間長押しします。

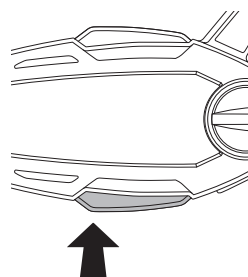
LED 紫 流れる点滅

サウンド ユニバーサルペアリング

2. B2ボタンを押します

LED 紫 流れる点滅

サウンド サーチ開始



自動で通話が始めれば完了

LED 紫 ゆっくり点滅

サウンド ユニバーサル接続

7. インカムとの接続<ユニバーサル>

その他モデルと通話する

B+FLEX対応機種以外のバイクインカムと通話する場合は、ユニバーサル通話機能(他社インカムとの接続方法)を使用します。接続方法は2つあります。

■ ユニバーサル・コール

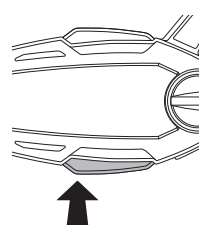
接続相手のインカムにユニバーサル機能がない場合

ユニバーサル・コール機能を使います

7X

「ユニバーサル・コール」モードにする
電源オンの状態でB2ボタンを3秒間長押しします。

LED 紫 流れる点滅 **サウンド** ユニバーサルペアリング



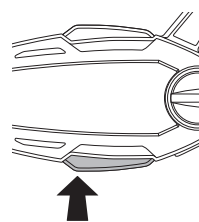
接続相手のインカム

携帯電話とペアリングする操作を行う
※ペアリング方法は各インカムの取扱説明書をご参照ください。

7X

B2ボタンを押します

LED 紫 流れる点滅 **サウンド** サーチ開始



自動で通話が始めれば完了 **LED** 紫 ゆっくり点滅 **サウンド** ユニバーサル接続

自動で通話が始まらない場合

7Xを再起動してB2ボタンを押すか、相手インカム側で「スマートフォンと再接続する」操作を行ってください。

【注意】

接続するモデルとの相性によっては、上記の方法をお試しいただいても接続できない場合や、接続できた場合でも通話品質が十分でない場合がございます。

7.インカムとの接続<ユニバーサル>

その他モデル

■ユニバーサル・レシーブ

接続相手のインカムにユニバーサル機能がある場合

ユニバーサル・レシーブ機能を使います

7X

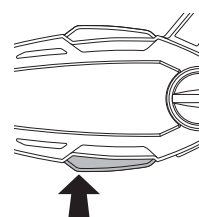
電源オンの状態でB2ボタンを3秒間長押しし、「ユニバーサル・レシーブ」モードにします。

LED

紫 流れる点滅

サウンド

ユニバーサルペアリング



接続相手のインカム

他社接続機能のペアリング操作を行う

※詳しい操作は各インカムの取扱説明書をご参照ください。

自動で通話が始めれば完了

LED

紫 ゆっくり点滅

サウンド

ユニバーサル接続

自動で通話が始まらない場合

7Xを再起動してB2ボタンを押すか、相手インカム側で「登録済みインカムを呼び出す」操作を行ってください。

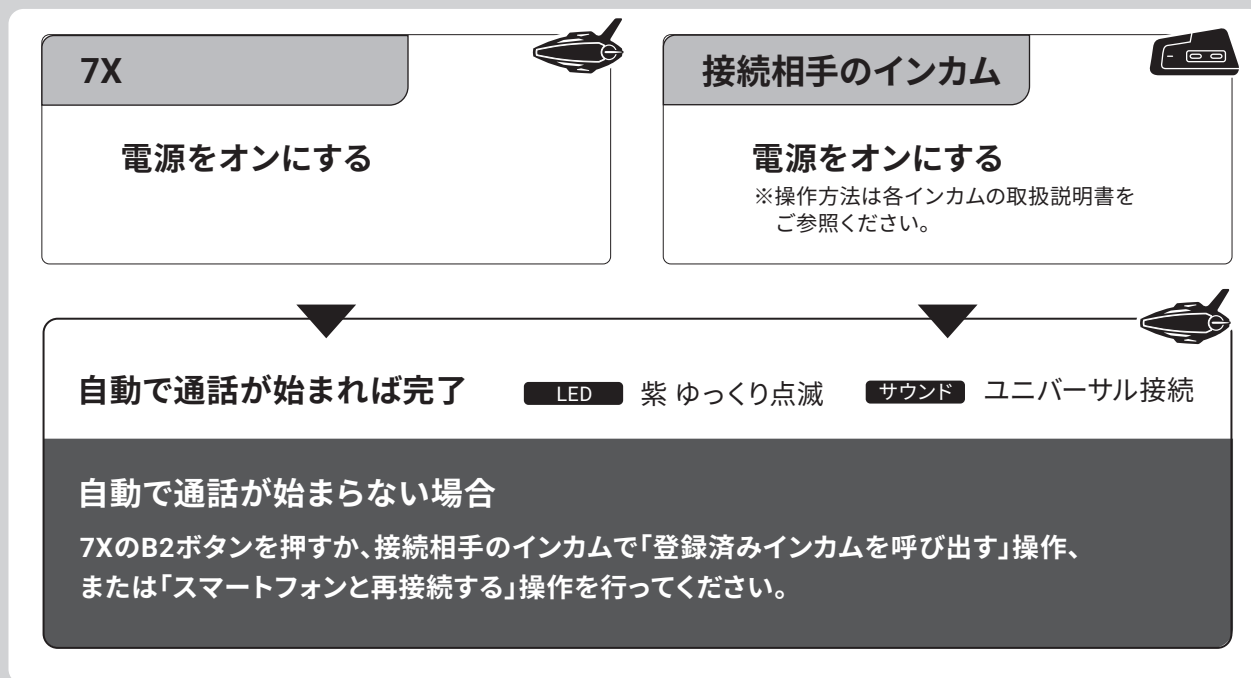
【注意】

接続するモデルとの相性によっては、上記の方法をお試しいただいても接続できない場合や、接続できた場合でも通話品質が十分でない場合がございます。その場合は、前のページに記載の方法をお試しください。

7.インカムとの接続<ユニバーサル>

ユニバーサル通話の再接続

ユニバーサル・コール、ユニバーサル・レシーブどちらで接続した場合も共通です。



※距離が離れて切断した場合も、上記手順で通話開始操作を行ってください。

8.便利な機能

音楽やナビ音声を聴きながら話す「聴きトーク」

「聴きトーク」の始め方

K-2

デバイス側の音量だけを調整したい場合

K-3

通話の音量だけを調整したい場合

聴きトーク全体の音量を調整したい場合

インカム通話中のマイクオフ機能

K-4

8. 便利な機能

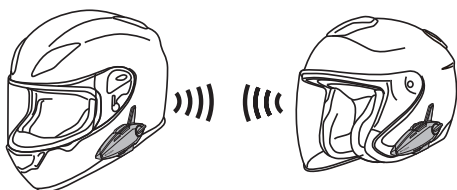
音楽やナビ音声を聴きながら話す「聴きトーク」

「聴きトーク」の始め方

本製品の「聴きトーク」は、音楽やナビ音声を聴きながら、同時にインカム通話を行うことができる機能です。スマートフォンなどのデバイスから音声を再生した状態でB+FLEXを開始すると、「聴きトーク」状態になります。 ※B+FLEX ONLINE、ユニバーサル通話時には聴きトークは使用できません。

B+FLEX MESHを開始する

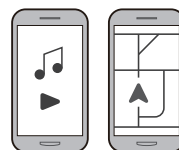
オープンチャンネル、プライベートチャンネル
どちらでも可能です。



どちらの操作からでも可能です。

デバイスの操作

音楽やナビの音声を再生する



「聴きトーク」状態になる。

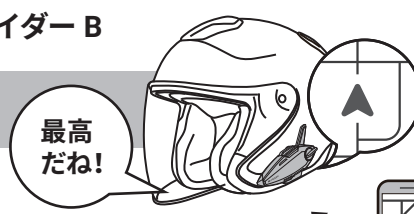
ライダー A



ライダー A のスマートフォン音声
(ライダー A のみ聴こえる)

インカム通話中

ライダー B



ライダー B のスマートフォン音声
(ライダー B のみ聴こえる)

デバイスボタンを押すと音楽が一時停止し、インカム通話のみの状態になります。

再度デバイスボタンを押すと、音楽が再生されます。

※「聴きトーク」中にインカム通話相手との距離が離れた場合、インカム通話音声や音楽、ナビ音声などのデバイス音声が乱れる場合があります。通信が乱れない距離まで近付くか、デバイスの音声を一時停止し、再度、再生してください。

7X の聴きトーク

B+FLEX MESHの聴きトーク



B+FLEX ONLINEの聴きトーク



ユニバーサル通話時の聴きトーク



8. 便利な機能

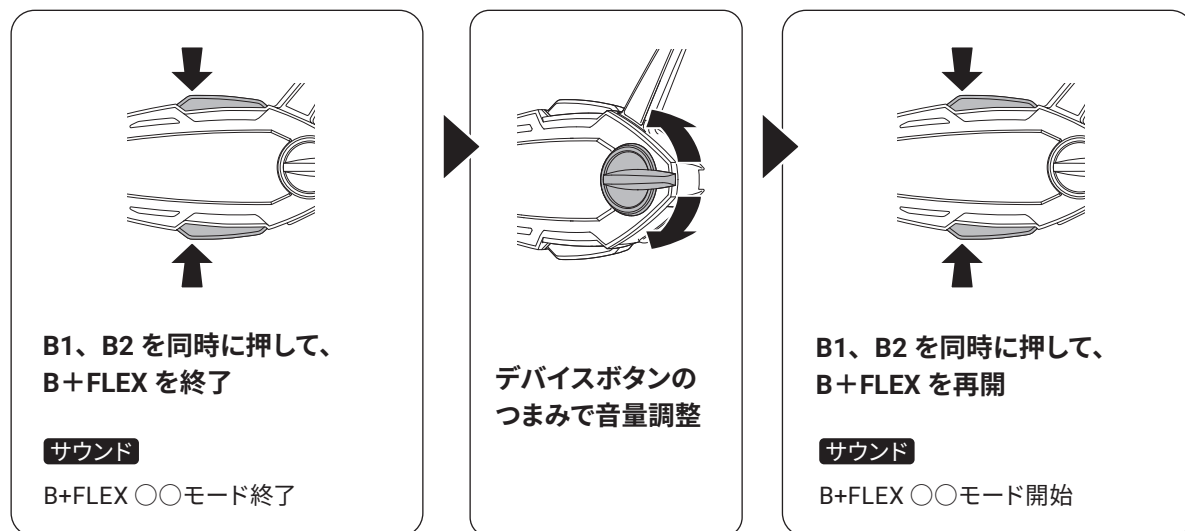
音楽やナビ音声を聴きながら話す「聴きトーク」

本製品の聴きトーク時のインカム通話音量とデバイスの音声の音量バランスを、以下の方法で独立して調整することが可能です。

【デバイス側の音量だけを調整したい場合】



一度 B+FLEX を終了し、デバイスの音量調整を行い、再度 B+FLEX を開始し聴きトーク状態に戻します。



【通話の音量だけを調整したい場合】



再生している音楽を一時停止して、通話の音量調整を行い、音楽を再生して聴きトーク状態に戻します。



【聴きトーク全体の音量を調整したい場合】



そのままデバイスボタンのつまみで音量調整を行ってください。



聴きトークの音量調整は、専用スマートフォンアプリ「B+FLEX APP」を使うと、カンタンに調整可能です。詳しくはA-12ページ(B+FLEX)をご参照ください。

※画面は 7X EVO 使用時のイメージですが、7X も同様です。



8. 便利な機能

インカム通話中のマイクオフ機能

本製品は、インカム通話中のマイクをオフにする機能があります。

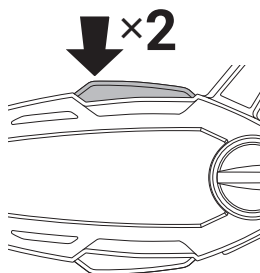
※B+FLEX MESH通話のオープン/プライベートともに通話相手がいる状態で操作可能です。

マイクのみをミュートにして通話に参加する

マイクオフ

インカム通話中に
B1ボタンを2回押す

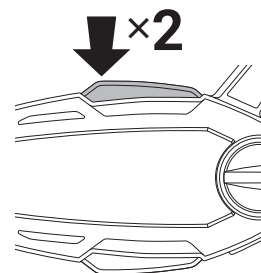
サウンド マイクオフ



マイクオン

マイクオフ中に
B1ボタンを2回押す

サウンド マイクオン



マイクもスピーカーもミュートにして通話に参加する

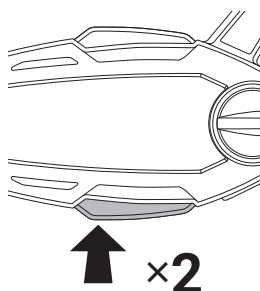
B+FLEXの接続状態を維持したまま、マイクおよびスピーカーがミュートオン、オフにして通話から一時的に離脱することができる機能です。

ガソリンスタンドなどで一時的に通話から抜きたい場合などに便利な機能です。

ミュートオン

インカム通話中に
B2ボタンを2回押す

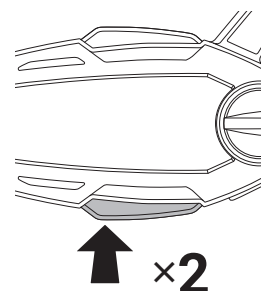
サウンド ミュートオン



ミュートオフ

ミュート中に
B2ボタンを2回押す

サウンド ミュートオフ



9.本体仕様	E-2
10. SYGN HOUSE.MEMBERSのご案内	E-3
11.保証規約	E-4
12.カスタマーサポート	E-5
サポート／製品送付先	E-5

9.本体仕様

B+COM 7X本体仕様

※本仕様は予告無く変更する場合があります。

Bluetooth Ver	Bluetooth5.3
Bluetooth Class	Class1
バッテリー	Li-Po 3.7V 1150mAh
充電時間	約2時間 (DC5.0V USB Type-C端子) ※1
充電インターフェイス	USB Type-C
本体サイズ	W111.3mm × H46.0mm × D24.4mm ※アンテナ、マグネットクレードル除く
本体重量	63g
防水性能	IP67相当
本体取付け方法	マグネットクレードル
保証期間	1年 (SYGN HOUSE .MEMBERSにて製品登録することで追加で1年)

※1:急速充電には対応していません。

※1:満充電までの時間は目安です。使用する充電器や充電環境によっては、時間が前後する事があります。

オーディオ／インカム仕様

対応プロファイル	HSP, HFP, A2DP, AVRCP
スピーカー	外径Φ40mm × D10.7mm ネオジウムマグネット インピーダンス16Ω
連続使用時間	最大14時間 ※2
最大接続可能人数	プライベートモード時 最大20人 オープンモード時 人数無制限
グループ通話方式	B+FLEX (MESH/ONLINE)
ユニバーサル通話	対応 (1台)

※2:連続使用時間は目安です。使用環境によって、時間が前後する事があります。

● SYGN HOUSE .MEMBERS

SYGN HOUSE製品をより楽しく、よりスマートに。

製品をご購入いただいた後も、「買ってよかった」と思っていただけ
の情報やサービスをご提供して参ります。



製品のサポート・お問い合わせ **メンバー** ゲスト

製品のサポート・お問い合わせ窓口、会員登録により毎回住所登録をせず、
手間を省くことができます。(メンバーだけでなく、ゲストも利用可)



製品登録 **メンバー**

購入製品の登録により、保証期間の追加や修理、
パーツショップご利用時の送料無料などの特典を受けることができます。(メンバーのみ)

**B+COM 7Xは製品登録対応となります。
保証期間の追加、修理時の特典が受けられますのでぜひご登録ください。**



修理依頼 **メンバー** ゲスト

オンラインで修理依頼が可能です。製品登録すればさらに特典があります。
(メンバーだけでなく、ゲストも利用可)



パーツショップ **メンバー**

スペアパーツや消耗品、オプションなどオンラインで直接購入いただけます。
クレジットカード決済が可能です。(メンバーのみ)

詳しくはこちらから



11.保証規約

本製品の保証期間は購入日から1年間とし、その期間内に製品の製造上の不良または材質の不良が発生した場合、弊社の判断で、製品の交換を行います。

下記条件の場合は、有償（交換費用、送料等）となる場合があります。

また、製品の状態によっては対応致しかねる場合があります。

- ・ご使用環境に起因する不具合、故障
- ・本製品の耐久性を超える負荷、環境下でのご使用において発生した故障
- ・誤った使用方法により発生した故障
- ・使用過程での紛失や劣化、破損、接触不良等が生じた場合
- ・弊社サポート以外（お客様自身によるもの、他社等）での改造・修理・調整・部品交換等がされた場合、保証期間問わず、修理対象外となります。

また、下記条件に関しましては、弊社では一切の保証・責任を負いかねます。

- ・天災による故障
- ・本製品の故障による付随的および間接的な損害
（事故、傷害、時間の損失、不便の発生、利益の損出、付随的に発生した費用等）

本保証規定は日本国内においてのみ有効です。海外からの交換依頼、および海外でご利用いただいている製品に関しては保証をお受けになれません。

製品を送付する際には必ず下記の情報を添付してください。

添付なき場合、保証は無効となり、有償（交換費用、送料等）での対応となります。

1. 販売店の押印、並びに購入日が記入された保証書*
2. 送付内容（製品の種類と数量）
3. お客様のお名前と電話番号
4. 送付理由および故障内容
5. 返送先のご住所

* 保証書に店舗押印がなく購入日が記載されていない場合は、購入日（購入店舗）を確認できるレシート、領収書も添付してください。また、お客様自身で購入店舗、購入日を記入したものは無効となります。

保証期間は製品が最初に購入された日を起算とします。インターネットオークション等で購入の場合は、保証期間はインターネットオークション等の販売者より引き継ぐことになり、インターネットオークション等での購入日から1年間ではありません。

販売者より引き継いだ保証書（購入日、押印未記入の場合は購入日が確認できるレシート、領収書）が必要となります。

保証期間は弊社での交換により延長はされません。

当初の保証期間の満了日をもって保証期間は終了いたします。

限定生産モデルは下記対応となります。

- ・保証期間内であっても部品がなくなり次第、通常モデルでの保証対応となります。
- ・保証期間に問わず有償修理対応は、通常モデルの部品での対応となります。

12.カスタマーサポート / 製品送付先

カスタマーサポート

お電話でのお問い合わせ

TEL : 044-400-1979 受付時間 : 土日祝日をのぞく平日 10:00~17:00

WEB のお問い合わせ

<https://members.sygnhouse.jp/>



製品送付先

株式会社サイン・ハウス

〒211-0012 神奈川県川崎市中原区中丸子 13-2 N棟 11階

TEL : 044-400-1979

<http://sygnhouse.jp/support/>

本マニュアル（製品仕様、保証規定等）の内容は製品アップデート等により、予告なく変更される場合があります。最新の製品情報、保証規定については弊社 WEB ページをご確認ください。

<https://sygnhouse.jp/support/manual/>

B+FLEX APP

ダウンロード・インストール A-2

各画面の説明

HOME画面 A-3

オープンチャンネル(モード)画面 A-4

プライベートチャンネル(モード)画面 A-5

操作パネル A-6

ヘルプ A-7

B+COM設定 A-8

B+COM設定:プロフィール A-9

B+COM設定:接続マネージャー A-10~A11

B+COM設定:サウンドコントロール A-12

B+COM設定:B+COM Ride Audio A-13

B+COM設定:その他機能設定 A-14

B+COM設定:システム情報 A-15

アップデート方法

ファームウェアのアップデート方法 A-16



B+FLEX APP



ダウンロードはこちら

iOS



Android



アプリ起動時に権限の許可を求めるメッセージが表示された場合は、
[許可] または [アプリの使用のみ許可] を選択してください。
許可しない場合、一部の機能が正常にご利用いただけません。

B+FLEX APPについて詳しくはこちらをご確認ください。

<https://sygthouse.jp/bflex-app/>



※本製品の全機能をご利用いただくには、本体およびアプリのバージョンが最新である必要があります。
ご使用前に、最新版へアップデートされていることをご確認ください。

各画面の説明

HOME画面

B+COMに設定した名前

B+COM各種設定の「プロフィール」から変更できます。

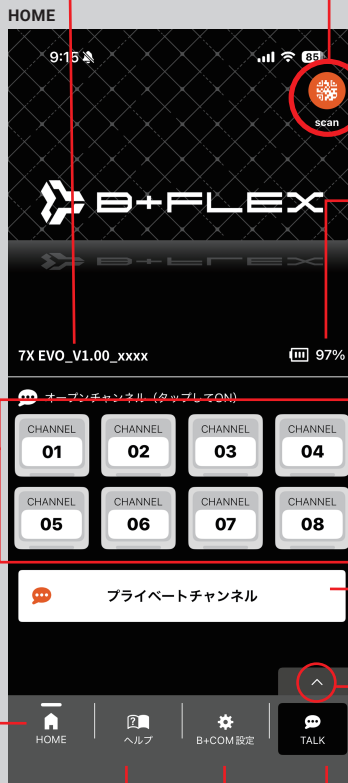
▶ 詳細はA-9ページへ

2次元コード読込

(プライベートチャンネル参加時に使用します)

▶ 詳細はF-8、F-9(インカム接続)ページへ

オープンチャンネルの 通話、チャンネル変更



B+COMの電池残量表示

プライベートチャンネルの 作成、シェア

▶ A-7ページへ

HOME

このページへ戻ります

操作パネル

- 各種音量設定
- 音声認識機能
- スピードダイヤルの設定
- マイクのON / OFF

▶ A-6ページへ

ヘルプ

- 取扱説明書
- 製品WEBサイト
- 利用規約
- プライバシーポリシー

▶ A-7ページへ

B+COMの各種設定

- プロフィール
- 接続マネージャー
- サウンドコントロール
- その他機能設定
- システム情報

▶ A-8ページへ

B+FLEX トーク表示

通話中にタップすることで、その詳細(オープンモードの場合はこのHOME)に移動します

各画面の説明

■ オープンチャンネル(モード)画面

B+FLEX APPを使って、オープンチャンネル(モード)の操作が可能です。

オープンチャンネル通話中は
この表示で確認できます



オープンチャンネル選択ボタン

入りたいチャンネルの数字を
タップするとオープンモードの通話が始まります
もう一度タップすると終了します

他のチャンネルを
タップするとチャンネルを移動して通話が始まります

押すだけカンタン

オープンチャンネル(モード)の通話方法はF-5(インカム接続)ページをご参照ください。

B+FLEX APP

各画面の説明

■ プライベートチャンネル(モード)画面

B+FLEX APPを使って、プライベートチャンネル(モード)の操作が可能です。

プライベートチャンネルのシェア用の二次元コード、URLを表示します

プライベートチャンネルへの参加、終了ができます

IN (参加) OUT (終了)

MESH, ONLINEのどちらで繋がっているかを確認できます

- B+FLEX ONLINE (β版) オフ / B+FLEX MESHで通話中
- B+FLEX ONLINE (β版) オン / B+FLEX MESHで通話中
- B+FLEX ONLINE (β版) で通話中

タップすることで B+FLEX ONLINE (β版) のオンオフの設定ができます

→設定方法は F-10ページ(インカム接続)をご確認ください。

自分の端末名
7X EVO_V1.00_xxxA
98%
本体のバッテリー残量

チャンネルリスト

リストから選択
もしくは
新規作成して詳細へ

チャンネル詳細

プライベートチャンネル

QRコード

メンバーリスト

7X EVO_V1.00_xxxA
7X EVO_V1.00_xxxB
7X EVO_V1.00_xxxC
7X EVO_V1.00_xxxD
7X EVO_V1.00_xxxE

作成したプライベートチャンネルに入っているメンバーを表示します

メンバーの接続状況

- MESH接続
- ONLINE接続

メンバーの端末名が表示されます

7X EVO_V1.00_xxxB

※Androidのみ

各画面の説明

操作パネル

HOME



操作パネルボタン



本体のバッテリー残量

サウンドコントロール

3つの音量の現在のボリュームがわかります。

タップすることで各種音量の調整ができる設定画面に移動します

A-12ページへ

本体の名称

Bluetoothの接続名にも使われます

スマートフォンの音声認識機能

スマートフォンの音声認識機能 (Siri / Googleアシスタントなど) が起動します

マイク設定

マイクのオンオフができます

スピードダイヤル

登録しているスピードダイヤルを選び、発信ができます

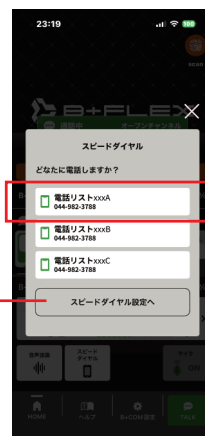


「スピードダイヤル設定へ」

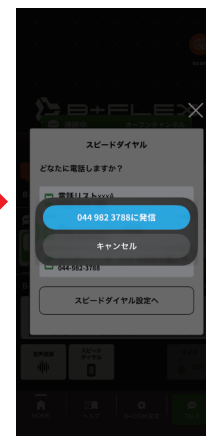
スピードダイヤルの登録、編集ができる設定画面に移動します

A-13ページへ

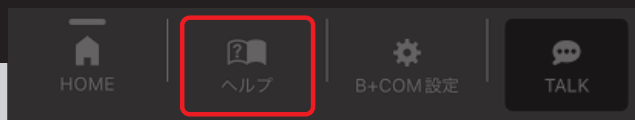
選択



発信



ヘルプ



ヘルプをタップ



1

B+COM のユーザーズマニュアルページにリンクします。
<https://sygnhouse.jp/support/manual/>

2

B+COM 7Xの製品ページにリンクします。
<https://sygnhouse.jp/products/bcom/bcom-7x-evo/>

3

利用規約

4

プライバシーポリシー

各画面の説明

■ B+COM設定



B+COM設定をタップ

1

プロフィールページに移動します。 A-9ページをご参照ください。

2

接続マネージャーページに移動します。 A-10ページをご参照ください。

3

サウンドコントロールページに移動します。 A-12ページをご参照ください。

4

B+COM Ride Audioページに移動します。 A-13ページをご参照ください。

5

その他機能ページに移動します。 A-14ページをご参照ください。

6

システム情報ページに移動します。 A-15ページをご参照ください。

各画面の説明

B+COM設定：プロフィール



デバイス名 (B+COM 7X) の変更

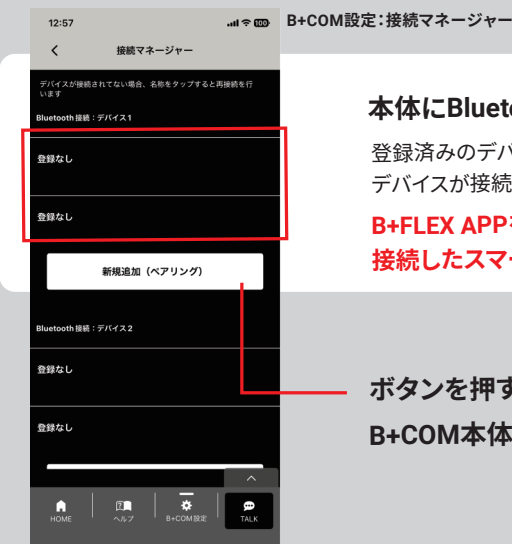
B+COM 7Xの登録名を変更できます。変更できるのは半角英数字で最大12文字です。
※Bluetoothの接続名にも使われます。

「本体を更新する」ボタン

デバイス名に記載した名称を本体に反映させます。
ボタンを押すと本体が再起動します。(ホーム画面に戻ります)

各画面の説明

B+COM設定：接続マネージャー



本体にBluetooth接続で登録されたデバイスが確認できます。

登録済みのデバイスは名称が表示されます。
デバイスが接続されていない場合、名称をタップすると再接続を行います。

**B+FLEX APPを操作できるのはデバイス1に
接続したスマートフォンのみです。**

ボタンを押すと
B+COM本体がペアリングモードになります

B+FLEX APP

各画面の説明

■ B+COM設定：接続マネージャー



ユニバーサル接続：

B+FLEX MESH対応機種以外のバイクインカムと通話する場合はユニバーサル通話機能 (他社インカムとの接続方法) を使用します。

ユニバーサル接続に登録済みのデバイスを確認できます。

ユニバーサル・コール

接続相手のインカムにユニバーサル機能がない場合

「コール (相手機器を呼び出す)」

B+COM本体がユニバーサル・コールでサーチを開始します。

B+COMの動作 **LED** 紫 流れる点滅 **サウンド** サーチ開始

ユニバーサル・レシーブ

接続相手のインカムにユニバーサル機能がある場合

「レシーブ (相手からの呼出を受ける)」

B+COM本体がユニバーサル・レシーブでサーチを開始します。

本体の動作 **LED** 紫 流れる点滅 **サウンド** サーチ開始

詳しいユニバーサル接続の方法はU-4 (インカム接続) ページをご参照ください。

B+FLEX APP

各画面の説明

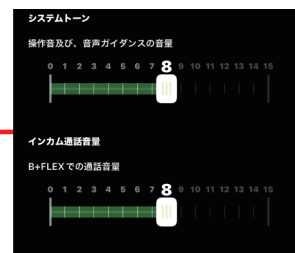
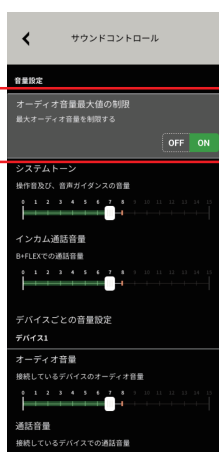
B+COM設定：サウンドコントロール



B+COM設定：サウンドコントロール



オーディオ音量最大値の制限



ONにすると
最大「8」までに制限します

以下の音量を個別に調整可能です

- ・システムトーン
- ・インカム通話音量

デバイス1

- ・オーディオ音量
- ・通話音量

デバイス2

- ・オーディオ音量
- ・通話音量

特殊設定：

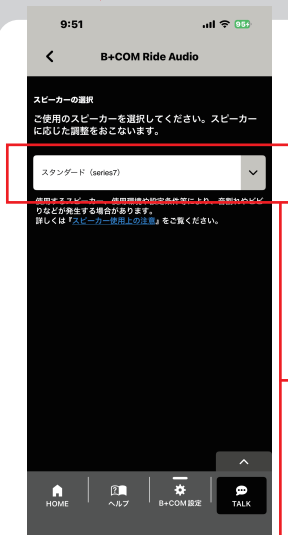
- ・GPSデバイス
- ・レーダーデバイス

各画面の説明

B+COM設定：B+COM Ride Audio



ヘルメットスピーカー セット series7 スモールをご使用の方はこちらの設定変更が必要です。



チューニングデータの設定

ご使用のスピーカーに合わせて変更してください。

※正しく設定をしない場合、使用するスピーカー、使用環境や設定条件等により、音割れやビビリなどが発生する場合があります。



B+COM 7X EVO / 7X 付属のスピーカーをご使用の方はこちら



ヘルメットスピーカー セット series7 スモールをご使用の方はこちら

ヘルメットスピーカー セット series7 スモールについて詳しくはこちら



<https://sygnhouse.jp/products/bcom/speaker-7-small/>

B+FLEX APP

各画面の説明

B+COM設定:その他機能設定



B+COMボイスコマンド

B+COMボイスコマンドは<7X EVO>のみの機能です。

スピードダイヤル機能のオン/オフ

設定された人にショートカットで電話をかける機能です。

連絡先の登録、編集や削除が可能です。

本体での操作はS-8(デバイス接続)ページをご確認ください。

スピードダイヤルの登録

任意の連絡先を3人まで登録可能です。



「タップして連絡先を追加」



「任意の連絡先」をタップ



スピードダイヤルに追加されます

スピードダイヤルの削除



「ゴミ箱」をタップして削除

各画面の説明

B+COM設定：システム情報



HOME

B+COM設定：メニュー

B+COM設定

プロフィール

接続マネージャー

サウンドコントロール

B+COM Ride Audio

その他機能設定

システム情報

システム情報

18:49

システム情報

ファームウェア (B+COM) のバージョン
1.1.0.22

アップデート

アプリのバージョン
28.03.12

ライセンス

B+COM本体のファームウェアのバージョンが表示されます

ファームウェアのアップデート
B+FLEX APPを使ってB+COM本体(ファームウェア)のアップデートが可能です。
詳しくはA-16ページをご確認ください。

B+FLEX APPのライセンスの確認ができます

B+FLEX APPのアプリのバージョンが表示されます

アップデート方法

1 ファームウェアのアップデート方法

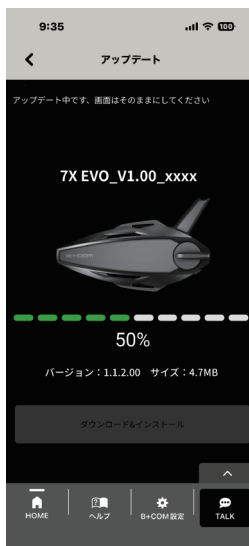
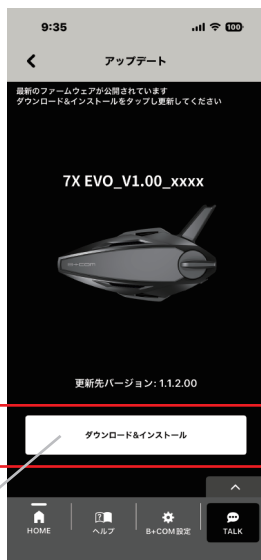


(B+COM本体のアップデートがある場合のみ)

ホーム画面の通知から

システム情報のアップデートボタンから

アップデートがない場合は、「ダウンロード&インストール」がグレーアウトしています。



アップデートが完了すると、本体が再起動します。
(一時的に切断状態になりホーム画面に戻ります)

アップデート後は

スマートフォンの登録情報の削除、B+COMのペアリングオールリセットを行い再度ペアリングをしてください